

アンケート調査結果

目次

アンケート集計結果

1. 一般市民向けアンケート.....	1
(1)今の金沢への思いについて.....	2
(2)10年後の金沢を見据えたまちづくりについて	22
2. 各種団体向けアンケート.....	45
(1)団体の活動について	45
(2)10年後の金沢を見据えたまちづくりについて	56

1. 一般市民向けアンケート

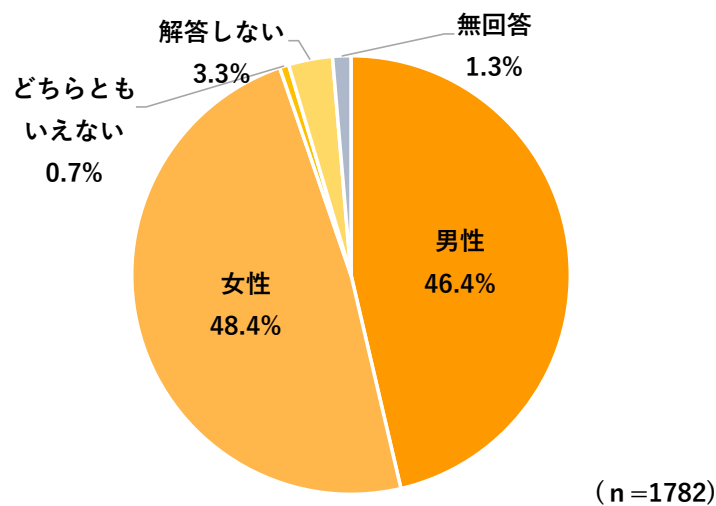
調査概要

調査対象	一般市民
調査方法	①紙による回答 ②インターネットによる回答
回答票数	1,782名

回答者属性

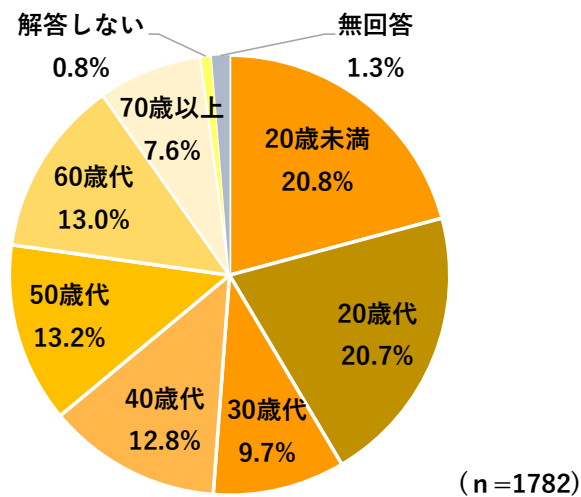
【性別】

「男性」46.4%、「女性」48.4%、「どちらともいえない」0.7%、「解答しない」3.3%



【年齢】

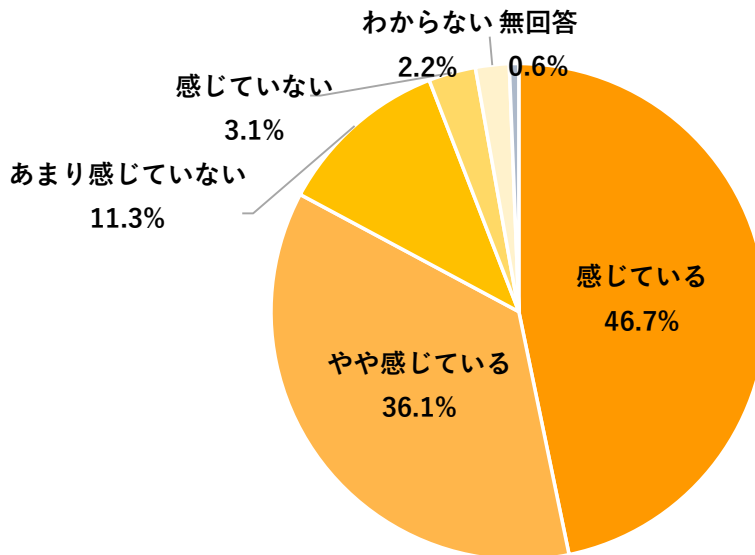
「20歳未満」「20歳代」がそれぞれ約20%、「40歳代」「50歳代」「60歳代」がそれぞれ約13%、「30歳代」「70歳代」がそれぞれ10%未満であった。



(1)今の金沢への思いについて

① 金沢に誇りや愛着を感じているか

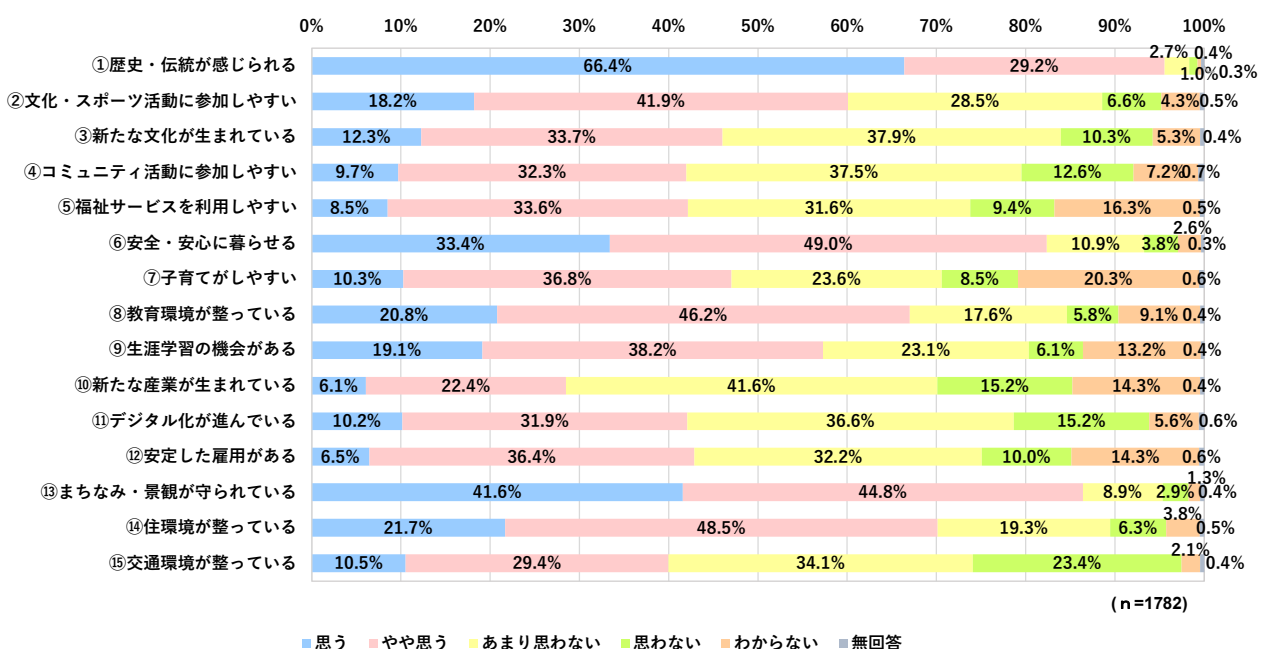
「感じている」「やや感じている」が82.8%であり、回答者の8割以上が金沢に誇りや愛着を感じている。



(n=1782)

②-1 金沢のまちの印象や金沢での暮らしについて、次の項目に関してどのように感じているか

- ・「思う」「やや思う」では、
 - ① 歴史・伝統が感じられるまち 95.6%
 - ⑬ まちなみ・景観が守られている 86.4%
 - ⑥ 安全・安心に暮らせる 82.4% が上位3項目である。
- ・「思わない」「あまり思わない」では、
 - ⑮ 交通環境が整っている 57.5%
 - ⑩ 新たな産業が生まれている 56.8%
 - ⑪ デジタル化が進んでいる 51.8% が上位3項目である。



(n=1782)

②-2 その他、前述以外の意見(自由記載)

魅力づくり(文化・芸術、観光など)に関する意見

(まちの個性)

- ・日本全国数ある県、市、町の中で、どこで勝負するかが重要ですので、流されず、金沢の個性をみがいていくことが、長い目でみて、ブランド力のあるまちを作ると思います。
- ・他県に無い金沢独自の特色をより前面に押し出す必要があるかと思えます。観光、伝統工芸、食文化、街並みと他県に誇れる良いものはあるが、全てにおいて二番煎じの感が強いので、中途半端なアピールをやめて優先順位を決め、ひとつずつ改革改良し、魅力を高めることで定住者促進に繋がると思えます。
- ・美術や音楽や歴史など欲張り過ぎ。わかりやすくゾーニングしてはどうか？海辺はリゾート、美大から美術館界隈はアートゾーン、駅近辺は音楽、のようにある程度イベントや施設を固めれば古いものは生かしつつ、新しいものが生まれるしモビリティもわかりやすく作れる。
- ・県外からの友人に金沢を案内すると、コンパクトで便利、伝統を感じるもの、文化度の高さ、ちょっと行くと自然も感じられ、美味しいものがたくさんあると言われ嬉しい。もっともっと、景観に配慮して、古いものを残しつつ、落ち着いた、素敵な街になっていって欲しい。
- ・金沢には観光地はあるが、市民が遊びに行ける場所が少ない。イルミネーションなどは富山や福井に比べて劣っている。
- ・金沢は自意識過剰である。文化創造に関わっている人は、多くないし、一部で街並みや金澤町家の保全再生は進んでいるが、その横では画一的再開発や破壊的毀損は進行している。
- ・金沢のまちがすばらしいと考えていることが、全ての考え方のまちがいであると思えます。

(歴史・伝統)

- ・新しいものと古いものの共存が大切。
- ・四季を感じられる風土が残っている
- ・遺産はあるが創造力が不足している。
- ・まちなみや景観を守ることは良いと思いますが、それによる規制がかなり厳しいため、自尊心など表現の場が少ないように感じます。
- ・食のレベルが高い。

(文化・芸術)

- ・経済界が文化・芸術振興に対する理解がある。
- ・伝統文化へのこだわりが強く、政策比重が高すぎて、多様な文化を受け入れる力が弱く、保守的な風土の強化につながっている。
- ・現状は伝統・文化を食い潰している状態(外ばかり見ている)。文化を担う人材(地域住民)への目線が弱い。育成と進展の両論が必要。
- ・伝統工芸に従事しやすい環境(補助の額の見直しなど)をもう少し整えていただきたい。
- ・東山茶屋街は観光スポットですが、実際市民はほとんどいきません。また、芸妓への支援が大変手厚いが、一般市民には文化芸術なのか理解しがたく、保存に税金をつかうのは意味がわからない。
- ・大学に、音楽学部を作り、芸術分野で広く人材育成を。

・風と緑の音楽祭は、毎年楽しみにしています。佐渡裕さんが音楽堂に来ていただいたときは感激しました！いつかシエナと一緒に音楽堂へ来ていただけるのを楽しみに待っています。

(文化施設)

- ・21 美術館や県立図書館、市立図書館など、よいものもある。
- ・文化施設が居住圏内に密集しているのでとても良いと思います。
- ・21 世紀美術館にて観賞後、駐車場代が 900 円でおどろきました、鑑賞した方には、せめて、半額など、もう少し通いやすいようにしてもらいたい。
- ・広島から引っ越してきて半年です。まだコミュニティや友人が出来るような場所は見つかりませんが、図書館が多く開館時間も長いのが素晴らしいと思います。
- ・博物館などが無いので自然科学教育の場が少ないようにも思う。美術館がたくさんあるのは情操教育の面でも文化芸術振興の意味でも良いと思う。
- ・兼六園の入場料は、繁忙期に無料にするのはおかしい。それで赤字になっても県民のせいにはされるのは困る。

(スポーツ振興)

- ・プロやアマのスポーツ競技や文化イベントなどのパブリックビューイングの常時開催、高齢者や熟年者が常日頃集える場やアクセス手段(公共交通機関を安く便利に利用出来るなど)の充実などを抜本的に図るべき。市民や県民が集い楽しそうにしている姿が、観光客の持続的な集客にも繋がるとみえています。
- ・太陽が丘スポーツクラブの施設でサッカーを習っているが、外の空気を吸いながら雨の日でもサッカーができてとても良い施設だと感じている。このような屋根付きの施設が増えてほしい。
- ・スポーツ、野球やソフトボールを出来る環境は比較的充実しているが、ナイター設備もあるところやネットが低いところなど改築、改修してほしい。
- ・一般市民が利用できるプールが南部にない。
- ・金沢マラソンへの市民ランナーの参加をもっと増やした方が良い。
- ・石川県にはツエーゲン金沢などプロスポーツチームもあり、星稜高校のようにスポーツの強豪校もあるのに、メディアによる県内スポーツの報道が少ない。景観が優先され、ツエーゲン金沢のフラッグすら見かけない。ワールドカップで盛り上がったように、スポーツには大きな力があるのもったいない。
- ・地元スポーツがなぜ盛り上がらないか、それは気軽に応援にいけるような場所じゃないからです。

(観光振興)

- ・何かにつけて前田家や百万石なので、それ以外の新たな視点で観光産業を振興する必要があると思う。
- ・伝建地区の東山ひがし、卯辰山麓の一部である観音町は、県外資本の土産物屋や観光客向けの店ばかりで、夜間人口が減っている。
- ・21世紀美術館の開館北陸新幹線の開業など、鍵となる出来事の後に、金沢のイメージは市民にとっても、観光で来られる方にとっても変化し続けているように思います。
- ・観光資源があるのだから、もっと PR すべき。
- ・観光都市「金沢」のブランド力は向上したと思います。逆に金沢から観光を除くと何が残るのか？とも思

います。特に外部資本による「もの」が目立ち、地元から支持されているのか疑問。

・白山さんまで行くプランをもっと白山市とも協力してやるべき。野町の西茶屋街を見たらそのまま野町から乗ったらいい。なかなかあの山々や、田園地帯を車窓から見られるのはない。ワンマンバスのような運賃払いや無人駅がまた都会の人からしたらいい。内灘海岸の夕日も最高。内灘町とも協力すればいい。

(市民生活との調和)

・近江町市場を市民の台所と呼ぶのはやめてほしいです。観光客目当ての値段設定になって、単なる観光地となってしまった印象が強い。お土産や観光客と関係ないお店まで、全てにおいて値上げされていて、とても残念です。市民のための市場ではなくなったので、変にアピールするのはやめてください。

・北陸新幹線開業以来、観光客が激増し、「観光都市」となった金沢を見ていて、全国に名前が知れ渡り誇らしいと思う反面、少し寂れた風情の良さや、知る人ぞ知るまちの趣きが薄れたようにも思います。

・まちが綺麗になったが観光客対応の店舗ばかりになり市民がふと入れる商店がなくなった。街に行く機会が本当に少なくなった。

・観光、伝統工芸に偏っている印象があり、子どもの時は、まちに誇りを持っていたが、最近はコンビニやチェーン店も増えて、特に町の中心地(片町～武蔵が辻)が衰退したのもあり、特色ある都市という印象がなくなってきた。以前はマニアックな店が多かった。

・外食はきまったチェーン店ばかりで、選択肢が少ない。

・宿泊税をもらって大切な街を維持してほしい。

・宿泊税があるが何に使われているか不透明。

暮らしづくり(福祉、環境、コミュニティ、安全・安心など)に関する意見

(福祉・医療)

・福祉サービスは高齢者・子供に対して充実している気がする。

・福祉のプロフェッショナルな方が少ないと思います。

・福祉サービスの案内を、わかりやすくしてほしい。

・障がい者に優しい街づくりが今後大切と考える。バリアフリー化がちょっと半端である。公共施設、商店等一体となって考え促進していく考えを希望する。

・人力による力任せの介助、持ち上げる介助が以前としてあり、職員の腰痛、離職が多い。利用者さんも力任せで介助されることにより、恐怖感や不安感、痛みなどにより体がこわばり関節が固くなり、床ずれなどの二次障害が引き起こされていると感じています。双方の安全安楽な生活を守るため、市として持ち上げない介護などを推進できませんでしょうか？高知県ではノーリフティング、持ち上げない介護の推進に県を挙げて取り組まれ、介護人材定着や腰痛者の減少に効果を出している。

・他県では導入されている難病患者に対する助成(県や市の施設が特別料金で利用できる等)がほしい。

・指定難病のコミュニティを見つけにくいです。

・コロナ感染者が多すぎる。市長、知事が主導で、コロナ対応や、感染者を減らすための対策をすべき。祭り、イベントも感染状況を見て、中止にするなり、規模を縮小するなり、考えてほしい。

(住民自治)

- ・自治が失われつつある。
- ・都市計画が市民を巻き込んで住民本位の街づくりになっていない。住民本位の市政実行、タウンミーティングをする等して行って欲しい。
- ・自治会任せの行政の姿勢を強く感じる。
- ・町内会に関して、金沢固有の方式があると聞きますが、理解してないので詳しく知りたい。
- ・「金沢方式」は見直ししていくべきだろう、慎重な検討が必要だが。
- ・市民が何かを市政に伝えたり、市民で動きを始めたりすることが難しいと感じます。
- ・様々な事に気付き、運営、活用するのは、全部、人。マナーを踏まえ自身のアイデンティティーを理解し、金沢人として、日本人として、地球人として、目立たなくても、自身の役割を果たす人が増えてほしい。

(地域コミュニティ)

- ・まちづくりの基本は住民の同士の絆が基本であると考えます。金沢市には昔から、助け合いの心で近隣の人々と心をかよわせ、支え合い、互いに善き隣人を作っていくという「善隣思想」が根付いています。向こう三軒両隣との言い方もあります。お隣同士ご近所が仲良く心をかよわせ、支え合う絆を作っていくことが一番大事であると考えますが。
- ・世代間交流が日常できるような仕組みや機会があればと思う。
- ・若者、中年、老人達のコミュニティが必要。
- ・県外より移住しました。人々は細かなことにうるさくなく、受容的で、子供達はとくに、にこやかに挨拶するなど、大層親和力に満ちた土地柄です。
- ・高齢者が地域づくりに活躍されている、市民の社会ルールや美意識が高い。
- ・校下町内会と小学校との関わりを強くすることで、町内会や公民館活動に関わる人も増えて、若い人も年配の方も関わり合えると思う。特に、子供がいないと町内コミュニティと接するきっかけが少ない。
- ・65歳まで働かないと生活できないのに、コミュニティ活動は優雅な老後の人しか対象ではない。
- ・町内会、公民館委員、子供会、女性会など町内会活動が多く、役員を押し付けられることが多すぎる。金沢市として町内会に何でも押し付けるのではなく、少子高齢化に伴い活動できる人も限られてくるので仕事内容を精査し、市民需要の低いイベント等を廃止するよう考えてほしい。社会体育大会や公民館文化祭など不要と思う。市民にアンケートをとるなど意見をきいてほしい。町内会の持続可能な組織に向けて、業務量を減らす方向へ働きかけてほしい。
- ・婦人部、子連などの行事縮小や現代に合わせた変化を求めます。特に変化を嫌う世代が多いため、婦人部は近代化がまったく進んでおらずアナログです。過疎化、少子化で人数を揃えるのも大変だが町会として脱退することも出来ずに負担だけがかかります。そもそも婦人部という名称自体に違和感です。未婚成人女性やシングルの方はどうなるのでしょうか。
- ・町内会活動や婦人会活動も平日の昼しか活動しないので、働いている人は対象外となる。いまだに女性は家にいると思っているのだろうか。
- ・賃貸住宅だと、町のコミュニティに参加しづらい。疎外感もある。コミュニティのあり方を考える時期にきていると思う。移住者を増やすことにも通じる課題だと思う。
- ・外から来た人の受け入れ体制がないと思います。

- ・排他的で閉鎖的。移住を後悔している。
- ・地域コミュニティの後継者の発掘がむずかしい。
- ・コミュニティの外に出ることに課題有。
- ・回覧板の電子化も考えて欲しいし、基本、みんなに優しくない街なんですよ。
- ・デジタル化が進む中、町民のコミュニティの活性化をはかるため、町会の結ネットをもっと活用するべきである。
- ・回覧板をなくしてデジタル化を推進するための金沢市独自の光回線や Wi-Fi 環境作りを進めて欲しい。

(暮らしやすさ)

- ・金沢市は住みにくい、という声にもっと耳を傾けてほしい。
- ・観光政策や伝統文化には力が入っているが、住民サービス・住宅地整備は良くない。
- ・観光を前面に出した施策が多く、京都のように住民へのサービス低下が懸念。
- ・観光・スポーツに重点を置きすぎて、市民生活の向上や改善にお金と人材育成が着手できていないと思います。なぜ保育や教育・福祉の場で非正規雇用が多いのでしょうか。
- ・サッカー場や観光施設の整備には力をいれているが、市民生活の向上や安全にもっと投資をするべきではないか？
- ・TV で取り上げられる金沢は、旧金沢市内の一部であって、新金沢市内に生活基盤がある者の不自由さの理解度が不安です。
- ・老人も住みやすいのか疑問がある。富山市のように「町中診療所、町中病院等」が安心して健康に暮らせる施策がないと思う。
- ・駅前広場の使い方がもったいない。
- ・金沢市に住んでいても、金沢市や石川県の公共施設を有意義に利用出来ない。公共施設を無料、または割引等住んでいる方たちにある程度の恩恵があっても良いと思う。
- ・カレードやカミーノをみてほしい。市民のためにあるのがよくわかり、あたたかい感じが伝わる。観光や芸術文化が、実際に住んでいる市民からしたら何もそこまで重要視してはいないことをわかってほしい。市民税は観光客のために払っているのか。
- ・市役所の駐車場は市民が役所を利用してなぜ支払う必要があるのですか？観光で駐車した人には払ってもらえばいい。21 世紀美術館の駐車場も、公立小中学の展示があったので見に行ったにもかかわらず駐車場料金をとられた。意味がわからない。野々市を見習ってほしい。
- ・泉野保健センターに子供の健診で指定された時間に行き、満車。40 分待たされた。意味がわからない。
- ・金沢市立病院の充実化・役割明確化も望みます。長期にわたって管理職トップが変わらないのも気になります。
- ・家の前の銭湯が再生重油を燃料としており、煤塵・悪臭・騒音によって生活に支障が出ている。公害審査会に調停申請したが、相手が改善しようとしないので話し合いに成らず、調停を降りた。兼六園に近い市中心部、こんな煙を出している施設はない。復活した銭湯もあるようですが、環境に配慮されての復活だったのか聞きたい。騒動が起きる前に、何とかして下さい。
- ・市の中心部(兼六園付近)には、生活に必要な食品関係のお店がなく、車がない年配者が購入に苦労しています。高齢者でも利用しやすい、宅配サービスの周知徹底をしてほしい(テレビ CM や回覧板等)

- ・夜の街での 20 代後半から 30 代前半の人たちのモラルやルールを守らないのは、金沢の汚点。平気で植え込みに汚物をばら撒く、歩道ではなく車道にまで出てきて話をしている。公共の場所に自分の飲食したゴミを置いていく、タバコのポイ捨て等、ルール違反や常識の通用しない人たちばかりです。観光客の人らしき方々も片町等に出向いている中で、あのような行動は、金沢を愛する者にとっては耐え難い。
- ・土地高騰のため、家を建てる人への補助金も足りない。
- ・市民税が高いけど何に使っているのか内訳をメディアに公開してほしい。
- ・市内中心部の小中学校統廃合が進み、市内中心部人口は人口自然減以上に減っている。
- ・他所から移り住んだ場合、大都市圏と比べても、いろいろな物価が高いと感じます。
- ・医療福祉、物価などは他に比べ高い(金額的に)サービスがいいとはいえませんが、金沢の個性である文化芸術を生かしていく上では仕方ないかと思えます。
- ・いろいろな生活関連の物価が高いと感じます。
- ・白山市 能美市 野々市市のような地域振興券を、金沢市民が一度も受け取っていない事は驚きでした。

(環境保全)

- ・カーボンゼロシティ環境創造都市を表明した金沢として、脱酸素の取り組みがない。
- ・金沢市は前市長自らゼロカーボン宣言しているが、まだまだ出来る事があるのでは無いか？商店街や工業団地などは何も対策されていない。電動無人バスのスローモビリティ導入も検討してはどうか？
- ・前市長が公約していた 2030 年までの市有施設全面 LED 化の計画は立ててあるのか？
- ・自動車や自転車のシェア(レンタル)ができる。リサイクル品の回収場所がもっと増えて、焼却や埋め立てゴミを減らすことができるなど環境に優しい暮らしが推進されている。

(ごみ)

- ・有料ゴミ袋が高い。
- ・家がどんどん建って、増えることによるゴミ出しの場所問題があると思う。カラスの被害もある。高齢化により、ゴミ当番辞退が増えている。都市部でもしている個別収集ができるように整備してほしい。
- ・各町会のゴミ捨場の整備を行政がもっと取組んで欲しい。
- ・ゴミ当番の担当者は、側溝に板を 6 枚おき、ネット、ブルーシートを 1 カ月ごとに設置します。場所も、1 年ごとに移動し、重たいネットなどを移動するのも疲れます。冬期は、雪でネットが重さを増し、掘り起こしたりもしたりと大変な思いをいたしました。地域も高齢化の中なんとかならないものではないのでしょうか。

(多様性)

- ・ジェンダー平等の意識が依然として低く、例えば公共施設であっても男性用トイレ(個室)に子供を座らせておくチェアがなかったり、おむつ替えがなかったりするのが気になります。
- ・パートナーシップ制度ができたが、制度を活かせる場が少なく、認知拡大して欲しい。

(安全・安心)

- ・地域の防災意識が希薄。
- ・近年の大雨などの際、内水も含めて、安心して暮らせない。災害に強い街づくりを。

- ・地震や災害の逃げ道がない街なのになんの手立ても講じていない。
- ・消防車も救急車も福祉車両も入れない地区を区画整理し、老人になっても歩いて買い物ができる街、あるいは共同購入などのできるコミュニティを作してほしい。

人づくり(子育て、教育、生涯学習など)に関する意見

(子育て支援)

- ・子育て分野にデジタル化をもっと進めてほしい。ファミサポや病児保育が使いにくい。
- ・金沢市での育児のメリットが思い浮かばない。子育て世帯にもう少し予算を使ってほしいです。
- ・子育てや若者がしやすい・生きやすいように、公的なサービスや市独自の給付金など、もっと金沢市が市民に関与してほしい。
- ・助成金を見直すべき(出産祝い金、20代の子育て世帯への住宅支援金、里帰り出産の助成金など)。
- ・子どもを産んだ時の支援。産休、育休中の支援。0歳からの保育園無償化。
- ・子どもが働けるようになる18歳までは所得制限なしの、医療費無料にしてほしいです。
- ・子どもを育てる家庭にもっと支援を。扶養手当、医療扶助だけではなく、物品クーポン(おむつ券、タクシー券など)を発券してはどうか。クーポンは、金沢市内で使えるものとし、市内でお金を回すことも大切。
- ・他県から転入してきましたが、保育園の給食費を支払うことに驚きました。医療費無償でないことにも同様です。子育て世代は何かとお金がかかるため給食費の無償化、医療費の無償化を検討してほしい。
- ・市立学校の給食費を全員全額補助、こども医療費窓口負担ゼロを実現してほしい。
- ・未来を担う年代が、将来に希望が持てるような支援やサポートをもっと手厚くしていかないと、覇気がなくなり、少子化や人口減少の歯止めがかからなくなる。地方からそういった政策等に力を入れてほしい。
- ・子育てがしやすい環境が整っていないように思う。
- ・近隣市町より子育て支援が弱く若者が魅力を感じていない。
- ・野々市市に比べると子育てしづらい。野々市市、いいなあと思うことがよくある。
- ・このままでは、金沢市から他の市へ移る子育て世代が増えると感じる。
- ・日本の国全体がそうだが、子供を安心して産み育てられる環境に、金沢市自体が育てやすいとは言えないと思う。ただ図書館は数も施設も充実している。
- ・こちらの会社の賃金が低く、私はフルリモートで東京の企業で正社員として働いています。第三子が産まれた際に行政サービスを受けたかったのですが、産後の肥立ちが悪い中での手続きやサービスを受けられる条件が諸々あり、手続きそのものは完了できましたがサービス自体は受けませんでした。
- ・子供を出産しても、保育園も入りづらく、仕事をしていても、子供を育てながらでは居場所がなく、女性が活躍、社会に進出できない。その結果お金が足りず、出生数が減少する原因になっていると感じる。保育園は第三子から無償化になり助かっているが、今後もっと子育て世代への配慮、支援が必要。
- ・子供の発達障害への情報が周知されておらず、援助に関し行政側から積極的に発信して欲しい。調べた情報を自ら取りにくい暇がない親もいます。主人がいる人はタクシーの補助が出ず介護の家事ヘルパーを支援してもらえないのは酷すぎる。夫は一日中働いているし、娘と私とギリギリで生きています。何処に頼ってもなんにもならず、ただただつらいです。
- ・子育てに関し、資格を問わず、子供達の育成のために、様々な分野で、活躍出来る場所があると良い。
- ・育児する人向け、こども向けのイベントが少ない。

・学校の PTA 役員、地域のこども会の役員等が大変で、任意なはずなのに、ほぼ強制なところが、もう 1 人こどもを持つことに消極的につながっている。学校の PTA やこども会等の組織作りに、時代に合った働きかけをしてほしい。そしたら、子育て世代の気持ちもゆとりが出て、家計に支障も出なくなると思う。

・子育て関係担当の市役所や保健センターの担当者に良い方が多く、電話やメールでの問い合わせの際に丁寧に必要な情報を案内してくれるのでありがたかったです。

(保育環境)

・関東都心に比べたら保育園など入れやすくてとても助かりましたが、金沢に越してきてから 5 年経った今でも知らない土地で、一人で子育てをしている気分です。入れやすい保育園ですが、会議で 16 時半を超えてからのお迎えになると延長料金が発生する上に迷惑そうにされます。

・双子に対しては、1 人ではなく 2 人ともに援助ができる東京、福岡のように第二子の保育料無償化(現状は第三子から無償ですが第三子まで産み育てるまでの壁が大きいです)。明石市を参考にしてほしい。

・病児保育を充実させて欲しい。

・保育士の配置人数を増やす、賃金の補償をしてあげてほしい。現場の先生方が大変そうで、みていてつらい。働いていて子ども預けている身として、安心して預かるためにも彼らのケア労働の価値をきちんと賃金に反映して欲しい。

(ワーク・ライフ・バランス)

・もっと男性の育児参加を促すようなお知らせや告知、小さい頃からの教育を対個人、対企業へしていただきたいです。

・男性だけの給料では満足する生活できない昨今、小さな子どもがいる家庭でもフルタイム正社員で働く必要。男性よりも給与が多くても、仕事に融通をつけて園や学校の役員や行事に参加するのは母親、家事育児も母親です。

・保育園に入園させるために希望の園に入れるのが難しかったり、2 人目を 4 月以外に同じ園に入れるのが難しかったり、中小企業が多いため子育て世代への理解が少なかったりともまだまだ子育てしやすい環境が整っていないと思う。お金の問題はもちろんですが、周りの理解が子育てには必要だと思う。

(放課後児童クラブ)

・小学校を開放しての学童も少なく、保育環境が不十分と感じる。

・放課後児童クラブが学区に 1 つしかなく、3 年生までしか利用できず利用者の増加によっては希望通り通えない可能性がある。土曜は午後 3 時まで等、制限が多く、これまで通りフルタイムで働けるか不安。放課後児童クラブの増設、受入れ児童の拡充を希望します。(鞍月小学校校下の学童保育が不足している)

(子どもの遊び場)

・北陸の中でも、同じ石川県の中でも、大きな遊具のあるような公園などが少ない。アスレチックのある大きな公園がほしい。公園は維持費もかかるし、利益もないが子どもにとって遊びは将来への様々な能力を養う機会なので、石川の未来を担う大人への先行投資として、もう少し充実させてほしい。

・あめるんパークのような施設を増やし、子育てしやすい環境が増えれば良い。子ども達が安全に積極的

に身体を動かせる場所が増えればいい。

- ・大きな公園が少なく、あっても駐車場が満車。雨の日に子供が遊べる場所がない。
- ・子どもの遊び場所(屋内、屋外)を増やしそこに行く手段も整えて欲しい(公共交通機関、駐車場など)。
- ・子供だけで行けるところが限られ、美術館などは観光地化し大人向けのことが多く、子供を連れて行くのは少し難しい。
- ・大きな図書館はあるが身近に図書館がない。子どもだけで通える図書館がほしい。
- ・動物園や水族館、科学館など子どもだけでなく全世代が楽しみながら学べる場所が身近になく、わざわざ機会を作って遠出しないと楽しめないのは文化的に損をしていると思う。
- ・サイエンススクールやプログラミングスクールなど子供が参加したがっても応募者多数で参加できない。

(教育)

- ・教育に関する相談をしたいときに、教育プラザ富樫かと思うが、どこで何をしているかわからない。
- ・教育のレベルの高さは感じるが、格差も感じる。もう少し個別に勉強のサポートをしてあげてほしい。学校の授業は教科書をこなすところで、しっかり理解するには塾に行く、という風を感じているが、勉強は学校でしっかり教えてもらい、放課後はもっと子ども同士でおもいっきり遊ぶ時間を大切にしたい。
- ・もっと芸術を子ども達の教育の中にも取り入れていいと思う。小学校や保育園の最新教育を積極的に取り入れ、学力だけでない唯一無二の人材育成の方へシフトしてお金を積極的に教育にかけていくべき、まちづくりを通して五感が養える金沢市としてつくっていくべき。学力がある学生を他県に排出しすぎ。知識能力ではなくオリジナリティな人材を呼び込むことで、街も活性化、よりよく活性化しよう！
- ・子供が、中学が不登校で、今は、成人しましたが、当時、引きずられて、体育館に行ったなどの話を最近いたしました。しらなかったとはいえ、勉強中心ばかりでなく、もう少し心の教育に力注いでもらいたい。
- ・勉強のできる子たちにはとてもよい環境だと思いますが、一方で学校に行けない、発達障害や医療的ケア児などに関してはサポートがまだまだ足りていないと感じます。生きづらさ、育てづらさを抱える人たちにも目と手を向けていただきたい。
- ・これまでの良さがこれからもある保証はありません。当たり前と思わないための、教育、啓発、人材育成、指導、摘発、外部からの正当な評価が必要です。
- ・ロシアのウクライナ侵略、中国の尖閣侵入、北朝鮮の日本海や経済水域に対するミサイル発射、核兵器による恫喝、今日、日本を取り巻く安全環境、エネルギー不足は益々深刻になる。大人も勿論、学校教育の現場でも我慢する教育も行って欲しい。

(学習環境)

- ・タブレット学習を不登校の子供達を使いやすくなるように整備して欲しい。学校でも、自宅でもいつでも授業をリアルタイムで見られると良い。
- ・小学校の校舎間格差を失くしてほしい。立派な新校舎が立つ一方で、建物の老朽化が著しい学校に通う児童が可哀想である。
- ・教育環境が8号線を境に差がありすぎ。
- ・市の中心部とその他で環境に差があると思います。事件はあまり聞きませんが、子供の頃から不審者情報はずっとあるので安全だとは思いません。

- ・金沢より近隣の市町の方が教育環境は整っていると感じる。
- ・教育環境については、小中学校の洋式トイレ化を早急に整備してほしい。場所によっては児童数も増えているので、トイレや教室の部屋が足りなくなっています。
- ・学校以外の体育館、グラウンドがない。
- ・米丸小学校校区、米泉町10丁目に住む市民です。町内には多くの子供達が暮らしていますが、小学生は交通量の多い道を片道30分歩いて通学する環境です。野々市市のようなスクールバスがあれば安心して通わせられるのに、と日々感じています。スクールバス導入のご検討をぜひお願いいたします。
- ・市立中学校の制服や付属指定用品などを簡素化して頂きたい。制服はある程度仕方ないにしても靴やカバン、家にある物で自由にすればお金はかかりません。小学校はまだいいですが、中学は夏服の名前刺繍必須だの新品を買わざるをえず、高い指定靴やカバンを提携一社にほぼ独占販売させ、学校に入れるだけでも一苦勞です。そんなに細かく指定に縛らなくても生徒の自主性に任せませんか？
- ・教育現場職員の処遇改善が実際には成されず、他の県よりもかなり遅れている。理想はわかりますが現実が伴っていないと思われる。教師不足の理由もしっかりある。身体を壊さないかと親は心配しかない。教師が部活動の顧問をしているため、土日休も休める事もできず過勞死しないかと心配だ。異常に感じる。

(学生・若者)

- ・今回のようなシンポジウムは、10代の学生・生徒とすれば、未来につながる。
- ・10万人あたりの大学数が日本一なのに学生の存在感がない。「金沢で暮らした4年間」を経験してもらいたいが。
- ・金沢ならではのまちの魅力を理解し誇りを持っている若者は少ないと思う。年配の方は、他と比較をして金沢にプライドを持っているイメージ。多くの市民が金沢の魅力を実感し楽しめるまちになってほしい。

(リスクリング)

- ・学び直ししたくてもお金がなく、また、その機会もあるのかないのか全く知らない。

(結婚)

- ・金沢市が婚姻を助長するような催し事があっても良いのではないかと感じます。
- ・看護師など特定の職業だけが結婚につながり、医療被害者には全く結婚につながることはない。

仕事づくり(新事業創出、産業振興など)に関する意見

(新事業創出)

- ・文化振興の行政施策は活発と言えるが、産業創出に向けての取り組みが弱いと感じている。
- ・文化ばかり前面に出ている。文化で実収入、生活が出来る人は少ないのではないか。文化をベースにした上での新たな産業創出が望まれる。
- ・披露するほどアートやクリエイティブ産業は活発ではなく環境は整っていない。行政もメディア、経済界、教育界もガラパゴス化している。そもそも日本や世界を知らずして、世界に誇る文化都市と言うことなかれ。その目線を変えれば可能性は高い都市だと思う。

(地域産業振興)

- ・観光以外の産業、農業漁業やものづくりの分野に若い人たちが参入活躍できるようになってほしい。
- ・金沢にほとんど田んぼがなくなっている。このまま第一次産業を衰退させていいのか。山にも海にも恵まれた金沢の地場地産のものを大事にしたい。担い手、田畑の場所をビルや建物、休耕田などにしないように。
- ・竹林、里山整備の加速化。
- ・企業だけがデジタル化IT化し、勤めてない生活者は利点が少なく、農業のIT化も全くない。
- ・大規模工業団地の造成。美化の強化。

(雇用・働き方)

- ・雇用も増えれば、県外の大学に進学してもUターンするはず。
- ・金沢市内および郊外には各種の大学や高等教育機関があるが、卒業後に金沢市内に就職をして残る人材が極めて少ない。要するに働く場が少ないということである。よって、学生たちが自らの働く場を開拓できる環境が求められている。そこで、各大学と企業などがテーマごとに研究交流できる施設を香林坊の日銀跡に創ると良い。
- ・雇用が少ない気がします。パートの求人を探していますがなかなかありません。
- ・働き口が少ない。所得が低い。
- ・基本給手取り 30 万になるよう企業に働きかけしてほしい。
- ・公務員の給与引き上げによる、人材の確保。
- ・氷河期世代の雇用がほぼ非正規や介護職で、低賃金でつかわれている印象がある。市や県の職員も非正規雇用が多く、このままでは情報や技術が後世代に伝わらないと考える。非正規雇用を正規雇用へ転換する政策がなく、雇い止めが横行している現状を変えて欲しい。
- ・働くには良くも悪くも保守的な土地柄であると思います。
- ・多様な働き方からは程遠い。多様な働き方を求めて東京の企業への転職を考えてしまう。
- ・子供を持つ女性も働きやすい世の中に。転職したいが残業なし土日休みの正社員の職が見つからない。
- ・子育て・教育・介護支援、農業、一生懸命コロナ禍の中働く商売人、中小企業に目を向けてほしい。

都市づくり(都市基盤、交通など)に関する意見

(都市開発)

- ・都市軸の都市開発早急整備促進はもちろんの事、この軸のクロス軸(副軸)として、起点を橋場町交差点、尾張町、武蔵ヶ辻、白銀、六枚、中橋、長田、藤江交差点辺り(金石街道金沢西警察署周辺までの計画延伸が理想的)までの都市開発整備促進を検討して頂きたい。
- ・橋場町武蔵ヶ辻区間は木の香る金沢らしい歴史都市景観整備促進、そしてひがし茶屋街への歩行導線の確保景観整備、武蔵ヶ辻中橋区間は飲食店やホテルマンション中心の再開発促進、中橋藤江区間は都心軸であるけやき通りとの一体的なエリア開発促進を。
- ・さらなる都心軸補完エリアとして、別院通り口本町白銀区間、堀川町此花町中島大橋区間、金沢駅六枚元車(御影大橋付近)区間、片町長町元車区間(中央通り沿い)等の都市景観再整備促進を。
- ・金沢市の北西部藤江辺りから北東部諸江辺り、南東部鳴和辺りから南西部有松辺りを取り囲むエリアを

都市開発促進、金沢の顔としての都市整備を強く望みます。

- ・金沢駅構内に魅力的な商業施設がない。都会の駅に習って積極的に誘致してほしい。
- ・金沢駅東口(兼六園口)である山側は、古き良き街並み保存を重視したまちづくり、金沢駅西口(金沢港口)である海側は、新たな日本海国土軸の玄関口としての新しい金沢(北陸)の顔となるまちづくりを。
- ・西口について、金沢アリーナや日銀金沢支店移転、JR 西日本や森トラスト開発等、エリア開発を進める際の歩行導線確保。金沢らしいペDESTリアンデッキ等、安心して歩ける歩行導線整備を検討するのはどうか。金沢アリーナや日銀金沢支店方面への歩行導線整備は必要不可欠です。
- ・東口について、ポルテ金沢及びその周辺に人が集約しにくい一つの理由は、入居テナントや店舗種類の問題だけではなく歩行導線の不十分さが挙げられる。地下広場をイベント活用する事は良い事だが、広場内に飲食中心に店舗を設置する等、人が集約する仕掛けが出来上がれば、地下道からポルテ金沢エリアへの歩行導線として今より生きてくるはず。金沢駅東口は歴史都市としての顔である為、ペDESTリアンデッキを造ってしまうと都市景観が損なわれかねない。
- ・都ホテル跡地である金沢駅前開発が遅れに遅れ、香林坊日銀跡地開発は未だ目処が立たず、西口 JR ホテル建設も凍結され、武蔵ヶ辻エムザは親会社が変わる始末。
- ・都ホテル跡地開発(地下街再開発)を含めて歩行導線確保の工夫が必要。
- ・南町の旧北陸中日新聞ビル跡地に、金沢百万石観光ルート(尾山神社金沢城公園兼六園国立工芸館)の起点となるお土産物屋を含めた商業施設が必要。観光出発点となる重要な区画であり、ニューグランドホテル下の中央観光案内所と連携して、観光拠点としての整備促進。
- ・金沢歌劇座を現日銀金沢支店の跡地へ移転し、上層階に商業施設を含めた複合施設建設を。まちなかにコンサートホールができれば香林坊片町エリアにも人が集まる(活気が生まれる)仕掛けになります。
- ・金沢広坂合同庁舎を現歌劇座の跡地へ移転し、この場所をいしかわ四高記念公園の拡大エリアとして再整備。※新たな緑地整備の拡大化(鼠多門いしかわ四高記念公園広坂緑地区間)。
- ・中心街のビルの高さ制限を緩和すべきと思います。高さ制限があるせいで再開発が進まず空洞化を招いている。いくら伝統ある建物を保存しても平面駐車場だらけでは街が死んでみえます。片町のビルの建て替えも進んでいません。今後の金沢の未来に向けて、生き生きとした街並みになるようお願いします。
- ・金沢駅前や駅西地区など高度地区による高さ制限を緩和したほうがよい。駅前や駅西エリアは高度化を図り、まちなかの特に背景を重視する伝統的なエリアは高さ制限をかけてメリハリをつけてほしい。エムザの建て替え計画もあるので、鞍月～駅前～武蔵までは高さ 100m～130m ぐらいまでは容認すべき。
- ・金沢駅前パチンコホームランの対面にあるバス車庫利用地を、金沢バスセンターとして整備し、高度利用による複合施設(商業オフィスホテルなどを上層階に設置)の再開発を。※松本市の駅前アルピコ交通バスセンターのイメージ。
- ・日本海側に大きな屋内アミューズメントが欲しい。伝統の格もあり、同じだけアミューズメントも必要。野々市 AEON の跡地に IKEA 金沢が出来ると良かった。他、サンドーム福井並みの大規模コンサートが出来ると会場も必要。人が集まる工夫がいる。
- ・アリーナ規模のコンサートが行える施設を作ってもらいたいです。現在、そのような規模の施設が無い為に、福井県や新潟県にその機会が持って行かれています。コンサートでは数万人規模での人の移動や来場者の宿泊やそこから観光にも足を伸ばしてもらえことから金沢市の経済や文化・伝統の発展にとってもプラスに働くとおもいます。産業展示館の敷地を用い、県と協力してこの構想を実現してみてもどうか？

(都市基盤)

- ・道路が車向けに整備されているため、歩行者(特に小学生)の歩道に配慮した設計になっていない場所が非常に多い。区画整理等で新しくできた住宅地の住所登録・地図更新が遅れ、そういった地域に人が増えているにも関わらず、道路状況が整備されていない場所も多い。県や市が、人が増えている地域、求められていること(融雪、除雪車、歩道整備等)を県民・市民目線で、あるいは歩行者目線で確認できていないことが明らかで、デジタル化云々の前に、市民の生活・安全を守れる市にしてほしい。
- ・都市計画、道路整備がされておらず慢性的な渋滞(特に雪の日)があり、宅地も狭い割に高い。
- ・ゴールデンウィークの渋滞緩和の努力は少しずつ結果が出ていると思います。
- ・道が狭いので、パークアンドライドのしくみや、電動キックボードのしくみなどを充実させたほうがいい。
- ・掃除が行き届いていない。ペンキのはがれ。道路がデコボコ。電動車いすが通りにくい。信号のある交差点で歩行者を横目に確認しながら左折していく車。一時停止をしない我先に通ろうとする車。
- ・主要交差点の歩道が多すぎて交通の障害になってバスが遅れて来る。もっと地下道を利用して横断歩道を減らす。更に地下道に誘導することによって地下街は繁栄する。地下道へはエスカレーターを設置して利用しやすくする。
- ・森本駅から津幡駅の間が長すぎる。
- ・海環の信号が多すぎて、通勤に不便。
- ・最近道路インフラの改修が行われているのをよく見るので良いと思う。
- ・車の運転中、夕日で信号が見えづらい箇所があるので改善してほしい。(金沢アピタ前)
- ・金沢駅の東地区と西地区が分断されているので、地下道路などで直線的に繋ぐのはどうか。
- ・雨や雪が多い割に、地下街が発展していない。金沢駅周辺の地下が無駄に広くてもったいない。
- ・中心部を一方通行にすることにより、循環化できないのか？
- ・商店街などはアーケード化(木質なら尚良し)を検討してはどうか？
- ・地下道が繋がっていないのが残念です。

(景観保全)

- ・旧市内の建物に高さ制限、色彩制限を厳しくしてほしい。
- ・過去に囚われすぎて城下町の面影もない地域にも関わらず、無駄な建築物の色規制がある。
- ・大型の看板や配色だけに固執し過ぎて、街の発展やビジョンのデザインが出来ていないと感じます。
- ・ドラッグストア、ホテル飽和状態で景観が損なわれている。

(中心市街地活性化)

- ・本来、都市軸もとい都心(香林坊および武蔵ヶ辻)の商店を享受すべき地元の方々が、同地域に大勢やって来る観光客を避けてか、郊外のショッピングモールの方に流れ出て、モールの方に地元の方々が集中してしまっている様子が窺えます。結果的に中心地区の相対的価値低下が生じている可能性がある。
- ・文化や都市自然があり、ハード面では整備がされているものの、ソフト面で心や暮らしへの充実を感じられる部分が少ない印象を受ける。特に豎町商店街などの閑散さや、文化度の低さは目に余るものがあり、文化都市の中心部にありながら、逆効果のイメージを植え付けているようにも感じるのが残念。しいのき迎賓館や金沢城公園の芝生部分にも同じような課題感を感じる。

- ・車社会になっているからかもしれないが、市の中心地に行かなくなっている。
- ・旧市街地で観光ルートにないところの町屋が壊れると、たいていその後はコインパーキングになるのは、まちなかの発展としては望ましくないと思う。ドーナツ化。
- ・市内中心部で駐車場だった場所がホテルになったり、公園になったりし、駐車スペースが不足している。
- ・このごろは道ぎりぎりまで高い建物だらけでまちなかが味気ないですね、どこの町かわからないです。
- ・古い街並みでバスのような交通インフラが利用しづらく自家用車が市民の足となっており、駐車場の少ない中心部へのアクセスに不自由を感じ、空洞化に繋がるのでは。富山市のようにコンパクトシティを念頭に将来設計してはどうか。
- ・北陸 3 県で唯一、10~20 代の若者が買い物を楽しめる施設(フォーラス、堅町)が整っているのは、とても良いことだと感じる。若者が楽しめる街であってほしい。
- ・金沢駅、香林坊、片町周辺などで wi-fi に繋がるが、まったく使えない。
- ・空いているテナントがもっと減るとよいと思います。
- ・香林坊周辺のカラスの糞害について、現在は期間限定の対策を恒久的に実施してほしい。夜になると金沢市役所から香林坊までの道にある木にすごい数のカラスがいて怖いので対策してほしい。

(都市計画)

- ・今少し郊外の開発に目を向けて欲しい。何かと市街地中心の掘り起こし復旧の繰り返しが多い。
- ・西金沢、東金沢、森本の駅前も現状では近隣商業地域で 31m の高さ制限となっていますが、緩和してオフィスや高層マンションなどを呼び込み駅前を発展させていったほうがいい。
- ・区画整理ができていないので道が狭く住みにくいので、転売も進まない。電柱がせり出している
- ・市の南部と北部の発展がかなり違うと思います。
- ・農振の調整区域を部分的に解除してほしい。
- ・調整区域の撤廃を求めます。
- ・耕作放棄地が増えている。見苦しい。太陽光発電の活用とか考えるべき。現在都市整備局が担っているが、農業の振興、農地の管理の観点から、農林部局にまかせるべきではないか。
- ・高圧電線下周辺の地域は、固定資産税を軽減してほしい。

(公園)

- ・人が安らかに集まる公園が少ない(欧米の様に)集まらない空地(公園)が多い。街にゆとりがない。
- ・バリアフリーの視点から、公園内の段差について事前に車椅子やベビーカーを利用する人にアナウンス仕組みがないのも不便です。

(住環境)

- ・移住後、思っていた以上に住みにくい。観光で訪れた際はいい街だなと感じましたが、観光以外の要素に対して整備がされていない。鉄道やバスの路線や本数が少なく、狭い車線幅、謎の左折専用レーン(他県では 2 車線あれば直進と左折は兼用のパターンが多い)、カーブしている交差点に誘導線がない、車線が消えていても引き直さないなど、他府県で運転していると遭遇しないトラップにイライラする。中心部は特にスーパーやドラッグストアの数も少なく、車で的外出にも適さないため居住向けの地域ではない。

- ・金沢城周辺や、観光地になっているところばかり整備されている。河川敷は草が生い茂っている、ゴミがそこから大量に出てきます。キレイに整備してくれたら、ゴミも捨てる人いなくなる。同じ税金払っているのに、市街地周辺に住んでいる住民にとって、不公平にならないようにまちづくりをしてほしいです。
- ・金沢市郊外に住んでいますが、近所に高齢者が亡くなり空き家が増えている一方で、どんどん田んぼをつぶして住宅地が造成されるのを見ると、矛盾を感じます。田植えや稲刈りなどの農作業の大変さや、カエルの合唱やおたまじゃくしの泳ぐ姿など自然の営みを身近に感じられたのは幸せなことだったので、それが失われていくのは悲しいです。
- ・空き家を市営住宅や公園などにしてほしい。
- ・売りに出ていないため買いたくても買えないため、空き家市場の活性化を促してほしい。

(雪害対策)

- ・金沢は雪の日を考えた道路づくり・街づくりが必要です。雨や雪ばかりでは自転車通学も困難だし、金沢で学生生活をさせるのはしんどいだろうな、と思います。格安ルートバス等を充実させて、お年寄りに無謀な運転をさせないことも大事だと思います。
- ・高齢化に伴い雪かきが困難である地域がある為、細い路地でも融雪装置を設置して欲しい。河川の水を利用、排雪用の側溝を街づくりに盛り込むとかセットバックを必要とする新築住宅の申請に対し、セットバック対象地は駐車場としない、植木も植えない等の制約を求めるなどしないと街は変わらない。
- ・観光客の通る場所は融雪にして欲しい。主計町は、きちんと融雪にしてあるが、観光客の多く通る向かい側の東山3丁目の川淵や中通りなどは、大雪が降ると観光客が歩きにくい。バス通りでも融雪になってない場所がある。市民にも観光客にも、中途半端にならないよう対応して欲しい。
- ・道路が凍る事が予想される日は、通勤退勤ラッシュ時だけでも消雪をつけて欲しい。事故を防ぐだけでなく、ラッシュ時の渋滞なども防ぐことができると思う。
- ・金沢駅前の歩道が大雪のときに全く除雪が出来ておらず融けかかっても排水も出来てない状態でした。生活している私も困りましたし観光で来られてキャリーバッグを引いて歩いていた外国の方も狭い道とビシャビシャな歩道をしんどそうに歩いていた。金沢駅で降りてあんな道を歩かせるなんて情けなく残念。
- ・除雪に関し、金沢市は生活用水路に雪を捨てるなどのスタンスですが、新潟などでは生活用水路の水流を強めて除雪を進めている。ある程度、幅と深さのある規模の用水路については認めて頂きたいです。

(公共交通)

- ・公共交通に課題がある(定時発着を確保してほしい等)。
- ・自家用車の利用が多すぎて、バスの不採算路線の本数がどんどん減るのを何とかしてほしい。
- ・交通機関の充実していない。バスの終了時間が早すぎる。
- ・朝早いバスがないので他市に電車通勤するには駅まで車で行くしかない。
- ・自家用車を使用しているが、特に郊外の公共機関がとぼしく、免許返納後のバス等の交通手段が心配。
- ・バスの路線、便が少なく、運賃も高い。人の動きが減少して経済が活性化しない、教育環境が限定的になる、伝統文化に対する関心が薄れていくと言う環境を創出している。子供を育て、若い世代から伝統、文化を創出する仕組みを作ってほしい。交通環境があまりにも悪すぎる。
- ・バスシステムが悪く、仕事を探すにも徒歩圏内で検討することになり、希望に合う求人を見つけるのは困

難です。もし、県外からの移住者を積極的に受け入れる方針であれば、首都圏の比較的若い人たちは車を持たない選択をする人が増えていますので、公共交通機関が充実していないと生活は難しいと思います。

- ・郊外へ行くバスが不便であり、街中に行って乗換える必要がある。学校(小中)も2キロ圏も多く、高校に関しては交通手段が自転車か送り迎えが多く不便。スーパーなど生活に必要な場所も車でしかいけない。
- ・学校へ通うための交通の便が良くなれば、渋滞や親の負担も減ると思う。
- ・北鉄バスのアプリが変更になってから時刻表の検索がとても使いづらいので、改修を後押ししてほしい。
- ・バスはサービスがよくないです。障がい者は利用しにくい。屋根付きのバス停を増やしてほしい。
- ・バスを利用したいが、バス停に椅子も無ければ、囲いもない、どうにかしてほしい。
- ・バスがほぼ独占企業によるもの。Suicaなども使えないし、新幹線来る前から準備しておくべきことが全くされず、今の状態でしょ？
- ・北鉄石川線について、野町駅から金沢駅まで繋げてほしい。
- ・公共交通機関の相互関係が悪すぎる。電車の本数を増やし、近隣から駅へのバス路線拡充により中心街交通混雑緩和を促せばもっと住み良くなると考えます。
- ・金沢駅から金沢港クルーズターミナルまでの交通を良くしてほしい。富山みたいな往復電車走らせて。
- ・路面電車を走らせて下さい。
- ・今後の高齢化と金沢の気候(雪も降り雨も多い)、観光客や転居者の増加を考えると新交通システム(地下鉄など)の導入を切に願いたい。
- ・地域間移動に車(個人車やバス)を用いない鉄軌道系新交通システムの整備は都心軸活性化に必要不可欠。今ある財産(浅野川線と石川線)を活かすのはBRTや自動運転バス等の車路を用いた公共交通ではなく、都市景観、都市風格、歴史文化工芸都市のさらなる利便性向上に直結する鉄軌道系架線レス蓄電池式LRTの導入です。
- ・新交通システム導入構想の公表から4年経った。慎重になり過ぎるが故に、スピード感が全く感じられない。
- ・都市格、都市環境、都市景観等の総合的な観点から、金沢市が導入すべき新交通システムは、鉄軌道系架線レス蓄電池式LRT以外に考えられない。都心軸にBRT導入では魅力度もインパクトも中途半端で、まちなか都市装置としては間に合わない。鉄路であるLRTが軸線として整備され、交通渋滞が比較的少ない都心軸ではないエリア、具体的には郊外と都心部の入口付近までをBRTで賄えばベスト。
- ・まちの心臓部(都心部)が活性化しない限り、そのまち及び周辺地域(都市圏全体)は健康な身体にはなり得ません(血が流れ込みません)。金沢市の新交通システムとは、まさに金沢都心部並びに都心軸を、そして金沢都市圏全体を活性化させる最大の起爆剤なのです。
- ・LRTにして石川線と野町で接続してほしい。石川線の一番のネックは野町までで香林坊や金沢駅まで繋がっていないこと。野町でバスと接続はしていますが、やはり乗り換えは心理的にも負担で一度精算もしなければならぬので将来的にはLRTで都心に繋げるとして、暫定的に九州新幹線の武雄温泉駅みたいに野町駅の電車のホームでバスと対面乗り換えができるようにしたらどうか。野町駅は2番線が使用停止状態なので、改良して、1面2線のホームにし、片方はレールを敷いて電車用、もう片方は路盤を嵩上げてバス用(ホームとバスの乗り降り口との段差もなくして)にして、電車やバスを降りたらそのまま対面で乗り換え。運賃は乗り換えた電車やバスの降りる駅で精算。同じ北陸鉄道さんが運行することとなると思うので、運賃も通し運賃で。さらにバスは2連の連節バスとし、石川線とその接続の連節バスは全国共通

IC カードも導入するといいいと思います。路線名も愛称でバスと鉄道部分を一体化し、香林坊石川ラインとか香林坊鶴来ラインとかにすれば一体的に見えていいのではと思います。バスは鉄道等に比べて観光客や普段乗らない地元民にもわかりにくく抵抗のある乗り物なので、鉄道でうまく活用して交通網を構築させてほしい。

・高齢化が進む中で、車文化では生きていきにくい。地下鉄がほしい。または、MaaSなどを積極的に取り組む必要があると思う。

・まちなかと郊外をつなぐ交通インフラがもっと整備されるといいと思う。(港とまちなかの間、競馬場とまちなかの間、球場・サッカー場とまちなかの間など)

・金沢駅西口が再開発されているので、コミュニティバスを走らせてほしい。駅、駅西保健センター、海みらい図書館、金沢港、県庁、県立中央病院などを一つにつなげてくれると、車のない通勤者、高齢者が便利。

・金沢市北部は車ないと生活出来ない。環境格差が大きい。

・郊外は車がないと生活できない状態で高齢化も進み住みにくい生活しにくい状態。100円周遊バスなどは中心部だけでなく、郊外に増やしてほしい。

・車に乗りません。生活しにくいです。昔からいる人たちだけで楽しんでいる感じがして、観光客には優しいのかもしれませんが、外から来た人にはやさしくありません。子どもたちがここに今後も住みたいと言う気持ちにならないそうです。正直、なんでも伝統にからめるの、カッコ悪いです。

・タクシーの運転手さんは京都より不親切です。

(免許返納)

・免許返納者の移動割引(バスやタクシー)を充実させ、返納割合を増やす努力が足りてない。

・高齢者のバス利用に補助金を出し買い物・病院等に行く際、運転しなくても良い環境を作る事が大切。

・免許センターが交通に不便すぎる。更新を警察で出来るようにしてほしい。繁華街以外の路線バスの拡充をしないと高齢者の免許返納が進まない。

(歩ける環境)

・歩行者が横断歩道にいるにも関わらず停止しないなど、車の運転マナーが悪い。

・車の運転マナーについて、観光に力を入れるなら、もう少しできることがあると思う。例えば、信号のない交差点で歩行者へ譲ることや、曲がる前の指示器をもっと早く出すなど。

・まちなかのシェアリングサービスはありがたく感じるが、冬の期間は使いづらいので、代替のカーシェアなどがあると嬉しいです。

・普通自転車専用通行帯が整備されている割合が低い。環境問題等の観点から、自転車で通勤通学する人口もこれから増える可能性があります。自転車に起因する交通事故防止(対人・対車両問わず)に必要。

・観光地にも関わらず安心して歩ける歩道が整備されていない地区もたくさんある。

・歩道について、彦三⇄橋場、犀川大橋⇄野町、歩きづらい、凹凸が多い。

・裏道路は歩きやすい、人の住んでいない家が広小路⇄野町-南大通りに多い。

・交通事故が増えているように感じる。横断歩道や歩道などの整備を進めて欲しい。

・金沢の道は車優先しすぎだと思います。特に市中心部はもっと歩行者優先にすべきだと思います。

・市街地は綺麗になったが住宅街など学童の通学路などの照明が暗く日没が早い季節は不用心。

- ・歩行者、ベビーカー、子どもを乗せた二人乗り自転車などのことももう少し考えて交通環境を整備してほしい。示野中町の交差点のように、横断歩道がなく8号線を渡る方法が地下道しかないというだけで不便なのに、地下道はベビーカーや子どもを乗せた自転車のことを全く想定されていなくて困っています。
- ・移住してきたばかりですが、車のスピードが早く怖いです。子供たちがそういった場所を平気で歩いているところに不安と異常さを感じます。また、用水路が多くありますが、危険を感じます。
- ・とにかく、ベビーカーや車椅子で歩きにくく、車優先になっていると思います！雪が降ったときの車道の融雪のせいで、歩道がぐちゃぐちゃで、ベビーカーで歩けないのには、本当に困りました。
- ・子供の通学路で危険なところが多い。雪掻きもされていないために子供が車道を歩かなければならない(泉野校下、泉野1丁目から緑が丘の交差点の間は特に危険)事故が起きそうなので車と歩道の間に縁石を置か、通学時に警察官の立ち会いを求めます。
- ・夜間の街灯があまりない、又は暗いので、歩くにはちょっと危ないと思いました。

その他のご意見

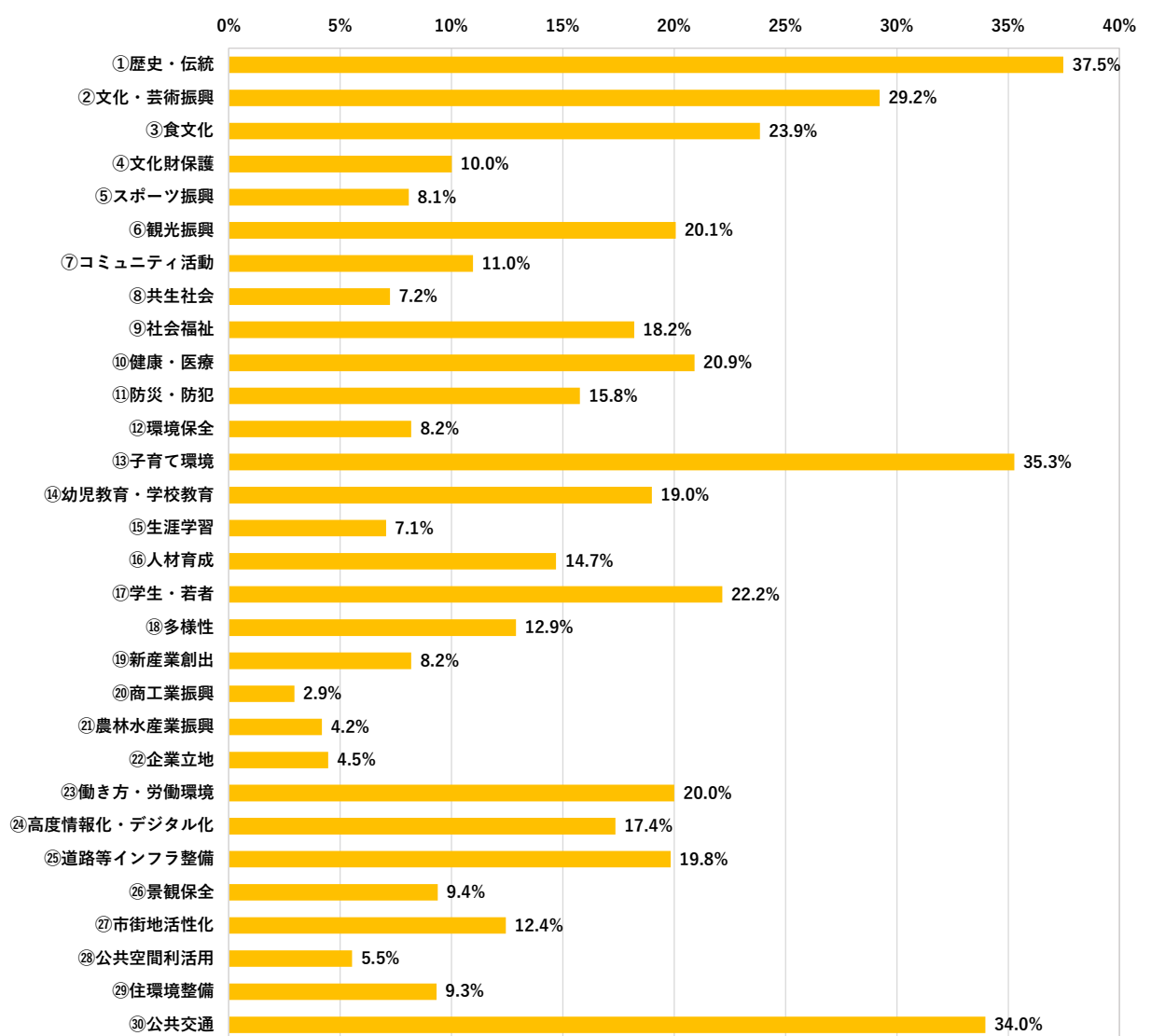
- ・市長のやりたい目標がないね！先を見据えた投資をしないと夢も希望もない町になってしまうぞ！
- ・観光産業に特化する or、子育て・教育に特化するなど金沢らしさとは何かカラーをはっきりさせ、他の都市とは違う面を強調していただきたい。
- ・近隣の市町や富山 福井とのさらなる連携が必要です。金沢独り勝ちだけでは、必ず限界が来ます。共に発展する姿が見たいのです。
- ・日本海側の政令指定都市は新潟市のみ。金沢市は現在、中核都市であるが、何としても金沢市も政令指定都市になるべき！！
- ・近年は、富山市の方が斬新な改革が行われていると思います。北陸新幹線だけに頼らない、金沢市としての施策が必要と思います。
- ・金沢はこれからも衰退を続けるのでしょうか？衰退とは、他都市と比較し、都市発展スピードが遅い事が衰退として位置付けられます。金沢ほどの繁栄を築き上げられた都市であれば、様々な社会情勢があったとは言え、現在の広島や仙台等の地方ブロック中枢基幹都市と肩を並べる立ち位置にいないと不思議過ぎる事なのです。本気で行政は、金沢の将来のまちづくりを考えてくれますか？本当に金沢の都市力を把握されていますか？何故、将来のまちづくりの為の投資を惜しむのでしょうか？投資が無ければ、魅力あるまちづくり等出来ない。
- ・足りないのはズバリ行政の方々の英断力ではないでしょうか？失敗を恐れず、強いスピード感を持って、自分たちの住み良い将来のまちの為に大胆な英断力が必要なではありませんか？金沢市はもっと可能性がある県都であり、北陸地方ブロックの中心都市であり、日本海側の中枢基幹都市であり、日本海国土軸(北陸新幹線全線開通)を代表する都市になる責務を担っています。
- ・行政の皆様、お願いします。これ以上、金沢を衰退させないでください。これ以上、加賀百万石の城下町を劣化させないでください。積極的な将来の為のまちづくりに取り組む気概を、そして気概だけではなく強い実行力を今一度持ち直して頂きたい！！小さくても光輝く世界交流拠点都市金沢の実現へ本腰を入れて邁進して頂きたい！！是非とも前へ進む実行力を、そして将来の為の英断を！！
- ・アンケートを取るだけでなく、結果を誰でも見られるようにし、今後の動きを明示してほしいです。
- ・どこの町と比較していいかわからない。もっと比較できる街等(データ)があれば検討しやすいです。

- ・このようなアンケートはあまり意味がなし、市政の迷走のもとと思う。既得権益とは別のところで動いている若くて知性ある、そして思いやりと寛容な人たちでチームを組んで、前に進めるべきではないか。
- ・議会、議員の行動を抑制できるように。
- ・市議会議員の意識が旧態依然としており、市議会の広報誌を読むたびにげんがりしている。
- ・市議会議員定数半減を。
- ・デジタル化、特に他自治体で推進が進んでいるメタバース活用などが必要だと思います。
- ・市民の行政手続きは未だ、窓口、紙ベースが多く、デジタル化しているという印象はない。伝統的文化に頼るところが多く、大きなイノベーションが生まれていない。行政として前例のない工夫が見られない。
- ・LINE での情報発信は増やしてほしい。「みまっ誌」を毎月 LINE でアップしてほしい。
- ・市役所で働く人は市内に住んだ方が良い。なぜ金沢市で稼いで野々市や白山市でお金を使うのか。中心部の空洞化で議論し金沢市の活性化、未来のためのアンケートをとるなら自分たちが、住む場所を考えた方がいい。災害が起こった時に歩いて来られるのか現実的に考えた方がいい。
- ・市役所職員の窓口の対応が悪すぎる。市役所職員も一度民間で働く場を設けて、サービスやお客様対応のノウハウを学んでから窓口立つべき。窓口対応の職員の名札が裏側になっていたりし、名前も確認できないことがある。責任を持った仕事をするためにも、窓口対応された後に市民が毎回アンケート(対応がどうだったかなど)を記入できるようなシステムを作って、市民がどう感じているかをわかってほしいと思います。意見を言える場がないのは問題です。

2. 10年後の金沢を見据えたまちづくりについて

③-1 10年後の理想の金沢を実現するために、大切だと思うキーワード

「①歴史伝統」が37.5%と最も多く、次いで「⑬子育て環境」が35.3%、「⑩公共交通」が34.0%、「②文化・芸術振興」が29.2%、「③食文化」が23.9%となっている。



(n=1769)

③-2 その他、前述以外の意見(自由記載)

魅力づくり(文化・芸術、観光など)に関する意見

(まちの個性)

- ・金沢の個性とは、文化と環境(水と緑を中心とした)だと思うが、その視点をベースに様々な施策を展開することで、市民がまちへの愛着をもち、住み続けたいと思う金沢として、10年後も存在し続けているのではないかと思います。
- ・「金沢」というイメージやブランドは大切にしたいが、市内中心部の古いもの(武家屋敷や寺院群)と新しいもの(進出したホテル)が混沌としており、いろいろな要素がモザイクを成している。観光圏、商業圏、住居圏とゾーニングする等、「金沢」が成長できる街になるような前進する姿になってほしい。
- ・デジタル化にも対応しながら、本市の強みである「歴史・伝統文化」に磨きをかけ、「街のステータス」を向上させることで、関係・交流人口、さらには定住人口が増えるとともに、市民がまちに愛着をもち、心が豊かになり、市政や暮らしへの満足度が高まることを望みます。
- ・文化、歴史、研究の日本の中での重要拠点。ものすごいものがあるのに、それが発信できていない。それを発信できるように。
- ・金沢に何度も人が来られるのは何故か。やはり、10年後ではなく、常に金沢の変わっていったところを残して行くことが大切であると考えます。
- ・文化都市又観光都市をめざすのであれば、人が集まりやすい仕掛、アイデアをもっともっと出してほしいと思います。
- ・国内トップレベルの文化、教育、国際交流都市となって欲しいです。
- ・観光にきたくなる街でなく、住みたくなる街。住んでいることを自慢できる街を目指して欲しい。
- ・金沢は観光するにも生活するにも、ほどよいサイズ感でバランスのとれたまちだと思います。
- ・金沢は歴史や文化の面でとても素晴らしく、市民の方々もその点に誇りを持っているように感じます。一方で、観光客や転入者に対して閉鎖的に感じることも多々あるので、よりオープンなまちになると良い。
- ・金沢は石川県の顔なので石川県の良い所を発信して県全体を活性化していける都市であって欲しい。
- ・歴史を踏まえた観光により、産業と暮らしをレベルアップしていくこと。そのために1.金沢城の復元2.金沢芸大を中心に、文化の継承と発展。博物館の充実。金箔の活用。3.食文化の発展とブランド化。4.市街の整備と公共交通の整備。などの政策が必要。
- ・日本一と誇れる兼六園を集中的に全国へアピールし定着させ、それに付随して食文化、伝統工芸、景観等を肉付けし他県に無い魅力ある街とすることで人口増が見込めるのではないのでしょうか。人口が増えれば産業に活気が出、雇用促進に繋がり税収も増え、それにより街並みを整備する良いサイクルが生まれるのではないのでしょうか。
- ・今の金沢は”ハコは豪華で、まだまだ使いきれていない”と思う。理由は、まだまだ critical に議論して柔軟に対応できる部分はおおいにある。文化を人寄せパンダにすることも大切ですが、そこにばかりお金をかけるのでは相変わらずの殿様商売が横行する金沢でしかなくなり、先への夢がない。
- ・住みたい、何度でも来たい、金沢に関わっていたいと思う人が多いまちであってほしい。
- ・世界から憧れられる宝石箱の様な都市になってほしいです。
- ・都市レベルで金沢が他に誇れるような品格を持つこと。
- ・大都市化を目指す必要はなく、現在の金沢に磨きをかける施策をお願いします。

(歴史・伝統)

- ・金沢の歴史は奈良京都に較べれば短い。江戸時代からの歴史しかほとんどわかっていない。あまり「歴史」を強調しない方が良いのでは？特に「古都」ではないので念のため。(もちろん、他の新興都市から見れば歴史ある)
- ・文化は生活に合わせて変化していくものなので、伝統は守りながらも変えていくことも必要。伝統に固執しない文化。創造し続けていて欲しい。他の都市にくらべ、「金沢らしい」と皆が共通で想像できるシンボリックなものがないため、そういったものが創られていると良いと思う。
- ・県都として経済、文化で発展する責任がある。伝統文化、歴史は尊重しつつも、先に目を向けてほしい。様々な特区となり、規制のかからない実験の場を提供し、技術、人、金を呼び込み新たな文化を生み出す。
- ・歴史関係の事に力を注ぐことはとても重要ですが、そればかりに偏り過ぎている気がします。
- ・百万石祭り廃止してほしい。

(文化・芸術)

- ・芸術的な事はもっと積極的に市が関わって、才能を育ててほしい。
- ・文化で稼げるようになるためには10年では短いかな、と思いました。その前に、金沢の大切な伝統文化や文化財が衰退しないような取組が重要かと思いました。
- ・まずは、県外から多くのアーティスト(芸術家、実演家)などが集まってくる(来たくなる)環境を創り出しましょう。
- ・少子高齢化や首都集中が進む中、一定の距離を保ち栄えるユートピア的な都市開発に力を入れ、芸術や文化に力を入れることで、人間の育成やコミュニティの連携を高められるモデル都市になれるのでは。
- ・OEK についてはここまでやってこれたのは市民のサポートは勿論、県市の財政サポートが第一。税金は使うところに使わないと意味がなくなる。
- ・芸術教育については「音楽大学」も設置することが重要であろう。
- ・伝統や文化を大切にしつつ、金沢オリジナルの新しい文化を発信出来れば良いと思います。
- ・金沢は華やかですが、もう少しのんびり穏やかさがあってもいいかなとおもいます。
- ・文化保護は公しかできないことだと思います。
- ・生活者とアートをもっと身近に。クリエイターやアーティストが集い、創作しやすい街に。
- ・泉鏡花文学賞を市民のため、賞名を増やしていただきたい。市民の税金で行っているのだから、市民がもっと多く参加できるようにしていただきたい。
- ・伝統や文化を繋いでいく若者のサポートが日本のモデルケースとなるようなまち。
- ・新しいものを誘致、紹介する活動は活発だが、金沢発という点で物足りないと感じる。10年後に望むものは、文化、芸術、産業の発信源になること。そのために一番必要なのは、強いチャレンジ精神と大きなエネルギーだと思う。
- ・文化、芸術の活用が、体験したその時の気分が改善されるだけでなく、市民の実生活の質の向上に持続的に効果があることが検証されない限り、市政の重点施策とすることには疑問があります。
- ・「文化」という言葉が一人歩きしており、具体的ビジョンは実のところ共有されていないのではないのでしょうか。特に教育の面で、まずはその文化を伝える教師の育成プログラムを、コンセプトを決めて構築しなければ、結局形ばかりの「文化教育」として、機会を無駄にしてしまう危険性が高いと思います。

(後継者育成)

- ・卯辰山工房について、学歴、コネがないと使えないという狭き門になっていて敷居が高く市民に浸透していないのが残念。卯辰山工房を市民に解放して、自由に格安で工房を使えるような環境が欲しい。そうすれば、真の文化都市になれると思う。
- ・地域の伝統工芸に貢献せず全く役に立たない卯辰山工芸工房に所属する研修生に育成金を払うのも無駄です。払うなら減税してあげましょう。
- ・美の創作者を育てるのはいいが弊害が出てはいないか？もっと生活に根ざした美があっても良いのでは。
- ・工房作りやギャラリーに対して助成金や補助金もありません。税金からの金でしか事業を始められないアマチュア以下の人には退場してもらいます。全ての問題は減税することにより解決しやすくなり、役所は民間の活動を妨げになる規制を緩和して減税することに力を注いで下さい。
- ・現在は、家業としての継続が無い。個々に家業が受け継いでいける状況があると良いと思われる(生活出来る事)

(文化施設)

- ・21世紀美術館を中心とした「まちなか芸術アート展」を開催すること。
- ・市民芸術村の利用をもっと考える。芸術村の広場とレンガ造りの木々をうまく使う。エジンバラのロイヤルマイルのように。
- ・もっと美術館があつたらいい。
- ・兼六園、21世紀美術館のような金沢といえばココと言われるような施設があつて欲しい。
- ・金沢城の規模が今の姿だと解りにくい。百間堀や白鳥堀を復活させ、裁判所や法務局などは、港口(駅西)側に移動してもらい、兼六園下から大手堀まで望める姿がいい。
- ・勝興寺が国宝認定されたが、加賀藩のお膝元の金沢市には、兼六園・金沢城が有りますが、目立った建造物が無いのでしょうか？ 国宝「雉香炉」が有りますが、もう少し掘り起こして強烈な目玉を作って頂きたい。無ければ観光客の素通りを招きかねません。
- ・自然科学系の文化施設がない。
- ・懸案である歌劇座建て直し。

(スポーツ振興)

- ・金沢にはスポーツ文化が育たないと言われ続けていますが、ツエーゲン金沢のホームスタジアムにも屋根がつかますし、そのスタジアムを活かした新たな取り組みが必要なのではないかと思います。
- ・金沢マラソンを年4回開催してほしい。
- ・パラスポーツの体験を広げてほしい。
- ・野球をはじめ学童スポーツの充実。

(観光振興)

- ・金沢に来ないと金沢文化、食文化、芸術を体験できない町づくり。東京で金沢の展示でなく、金沢に2泊3日コースで市内町歩き/ギャラリー回り/美術/庭園/食文化を楽しめる町とする。

・金沢駅に香りが有れば面白いと思う。駅を降りた時に上品な香りがあると「金沢に来た！」という感動があるかも知れない。(北見ではおしぼりにハッカの香りがあるとの事。)金沢市のシンボルになる花もあると良い様にも思う。

・金沢城、兼六園辺りの夜の景観を城下町らしく期間限定で、松明でかがり火的に設置し武家時代の火番を置いて当時の景観を再現し、金沢城周囲の石垣を触り見るたびに先人に残して頂いた歴史的遺産を活用し、見せる事により県外から人を呼び込み金沢市民の歴史的遺産の価値観を高めてみんなで誇れる金沢市を創っていったら素敵だと思います。

・観光だけが目的ではなく金沢を訪れてくれる人、まちに刺激を与えてくれる人との交流がもっと増えているとよいと思いました。それには、受け入れる側の市民の柔軟性、ふところの深さも必要ですね。

・今は金沢観光がブームだが、10年も経てば現在ほど観光産業が活性化していないと思う。その時に金沢の伝統や文化を軽んじた都市計画で歴史が台無しになるようなことがないようにいつも祈っている。

・街全体がテーマパークのような国際的な観光都市。

・観光は公が力を入れすぎなくてもポテンシャルがある街です。

・一度訪れると満足してしまうような観光地になってしまっている気がします。

(市民生活との調和)

・お金と時間がかかる東京などの大都市と違う金沢の利点を活かして、住む人にも訪れる人にも魅力的な街になってほしいと思います。

・観光化の弊害も常に考慮しなくてはならないと思う。

・観光と一般市民の生活がうまく住み分けられたり融合できたりすればよいと思います。京都のように、観光客のせいで一般市民がバスに乗れないのは論外だと思います。

・観光客重視ではない、市民重視の姿であって欲しい。もっと手頃に食べていた蟹、鰯、のど黒は観光客の為に取られ、次々ブランド化され、食卓になかなか上がらない。市民でさえも高価な外食で食べる時代。地産地消は？子ども達が当たり前で地物を食せる姿であって欲しい。

・海産物のブランド化を中止、廃止を望みます。例えば蟹。冬になって、スーパーで蟹を買おうとして10000円、香箱蟹で1000円など、とても買えません。ほとんど売れず廃棄しているため入荷も制限しているということ。旅行者のためにブランドをつけたのですが、市民が食べられなければ食文化の崩壊、断絶に繋がります。目先の金額に飛びつかず、金沢でずっと生活していく市民に目を向けてほしい。

・都市文化や自然保護についても、観光やコミュニティ活動と紐づけて双方のメリットにつながる施策、たとえば庭園清掃のボランティア組織化や、観光プログラム化などを想像します。なにもかもを観光資源として捉えるのではない、地方都市からの新しい発信の形を望みます。

・観光振興のためではなく、市民のための施設を増やしてほしい。もうホテルも要らない。

・観光振興も大切ですが、住民が安心して暮らせる事が第一。観光客増で、魚や野菜が高値になり、カニ、肉等、口に入る回数が減ってしまった。近江町は庶民の台所から観光客のカフェと化している。

・旅行者や外国人ばかりに配慮するのではなく、地元の人が生活しやすいようにしてほしい。つまり、地元や県内の物・人を大切にし、さらには、外国の人と共生ができるような街にして欲しい。

・まず市民に優しい街になってほしい。観光しか財源確保できないような街にはなってほしくない。

・市長のプレゼンは金沢市のイベントの多さを主張されていた。否定はしないが、日常の生活基盤が成り

立ってこそである。観光本位にしてきて、海外からの観光客が減った今、飲食宿泊業は大打撃を受けている。観光客本位ではなく、住民本位の市政を強く願います。

暮らしづくり(福祉、環境、コミュニティ、安全・安心など)に関する意見

(福祉・医療)

- ・三大都市圏の高齢者移住先として、福祉・健康・医療に全面的な行政の力を注ぎ「福祉都市」金沢を目指してほしい。
- ・福祉に関する活動が見えにくい。今日の日本を支えていただいたご年配の方を大切に、明るい日本にしてほしい。
- ・お年寄りも若者も障害者も誰もが不安なく過ごせる環境になるためのサービスや人材確保。
- ・医療の充実はもちろん、住みやすい町づくり、1人住まいの高齢者の保護、観察を今まで以上にお願いしたいです。(民生委員などの強化策など)
- ・親の介護等も負担にならないような公共の施設、施策等。
- ・歳をとっても、介護や医療が利用しやすく、安心して生活できていること。
- ・在宅介護職の社会地位の見直しで公務員とすること。
- ・病気があってもなくても、健やかに笑顔で暮らせるまちになって。
- ・医療をなぜ充実させようとしないのか。市民の健康・安全確保は優先度が高いと考えます。
- ・市立病院を新しくしてほしい。医療従事者が、働きやすく、働きたいという医療従事者が増えるような、魅力ある病院にしてほしい。

(共生社会)

- ・共生社会の実現が、市民の金沢への誇り愛着の醸成につながると思う。
- ・障害の有無や環境、国籍、考え方の違い等に関わらず、どんな人も安心して、差別や偏見の目にさらされることなく、自分を自分らしく、お互いを認め合い、尊重して生きられるような金沢であってほしいです。
- ・障がいのある人もない人も真の共生社会を実現したい。親和力、障がいのある人の作品、アウトサイダーアートを世界配信(世界をアピールする)してほしい。村山市長が文化に対して金を払うとおっしゃっているので、ぜひアウトサイダーアートをぜひ…！
- ・全ての人の人権と暮らしが保障され、自身に余裕があるときには誰かを応援し、しんどいときには応援されるまちであってほしい。もし失敗やつまずきがあってもやり直せるまちになってほしい。
- ・労働者のケア、子どものケア、親としてのケア全て心のケアを全般に取り組む金沢市になってほしい。

(住民自治)

- ・住んでいる所は、高齢者ばかりの地域であり、10年後は町会運営も難しくなると思われる。
- ・町会活動が、住民ニーズに応じ時代の変化に合わせながら、残っていること。
- ・ゴミステーションの管理が難しくなると思う。高齢化、地域住民の結びつきが困難になる。お世話する人間の減少。
- ・町は高齢者が増えてきて、町会の役などの関わりやゴミの当番など、対応できない人が増えてきている。最近では、ゴミの不法投棄もあり、ゴミ収集に関しては、ステーションでなく、各家の前での収集で、カ

ラス被害を考えると福岡みたいな夜のゴミ出しなど、対応できないものかと考えてしまう。ゴミ収集者が入れないような道路もありますが、東京はそうした道路は人が取りにまわっています。

(地域コミュニティ)

- ・高齢者の一人世帯や空き家が目立ってきて、町会の世帯数に大きな差が出てきている。町会の再編成をして、密接なコミュニティ環境を作り高齢者に優しい町にしていく。
- ・市民のコミュニティ参加意識は、地域から社会的人間関係(友人、職場、サークル等)に変化していくが、福祉教育防災など地域単位のコミュニティは不可欠。地域活動の担い手として、町会に参加、参画、行動する方が増えて欲しい。
- ・市内周辺地域におけるコミュニティ強化のための施設づくりや活性化が必要だと思う。
- ・昔のような「助け合いの心で近隣の人々と心をかよわせ、支え合い、互いに善き隣人を作っていく」善隣思想と「お隣同士ご近所が仲良く心をかよわせ、支え合う絆を作っていく」向こう三軒両隣の絆が保たれている姿です。
- ・少子高齢化の中で、一人ひとりが地域社会に参加していることを実感できる、それぞれに役割と出番があることを実感できるまち。
- ・世代を超えた地域住民の関わりを作る場を、小学校下単位でつくれるような支援が欲しい。授業に組み込めるといいのではないかな。eスポーツを利用した町会対抗イベントがあってもいい。
- ・赤ちゃんも子どもも若者も大人もシニアも助け合って共生できる街が良いです。住んでいる町ごとにコミュニティができればいいなと思います。町単位の活動が活発になってほしい。
- ・こどもたちもお年寄りも誰もが集まれる居場所がほしい。
- ・地域や町会等と子育て世代の間の繋がりがまた密になって欲しい。
- ・コミュニティの中で暮らしている実感が湧くような街になるといいです。お金とか便利とかだけでは寂しい街になるような気がしています。
- ・高齢者と若者の交流により、活発ハツラツな生活環境の拡大、維持を図る。
- ・お年寄りの活用
- ・年一回公民館との懇談会を持ってほしい。
- ・金沢の校下の区割りが昔のままで困る。中心部の人口が減っているところで、町会の世話役も居なくなって来た。公民館を何とかすべき！
- ・コミュニティがどこにあるか知らない。コミュニティの案内専門ダイヤルあれば福祉も出張相談会など出来るのでは？
- ・以前はヘルスセンター、ルネス、動物園等市民の憩いの施設があり町内会や学校、職場の慰安会等で親睦を図る機会がありましたが現在このような施設が壊滅し、市民の交流の場が無くなったのが残念。

(市民協働)

- ・市の行政と市民の距離感がなく自由で活気があるオンリーワンの地方都市。
- ・市民が行政に頼り過ぎないまち。
- ・名古屋にいる時に名古屋歴史的まちづくりごとに参加して、市の補助で活動をしていた。そのような市民活動の補助支援を行って市民に広くアピール、広報活動をして欲しい。

- ・今あるものを無くさず活かし(町家など)、若い人の新しい取組を年長者が阻害せず応援し(KAMU・林田さんのような取組)、市民も自分のやり方で社会参加できる(まいどさん、その他ボランティアなど)ような金沢を望みます。
- ・市民自らが、もっと Active に動けるしくみやチャンスがあれば楽しい。金沢の良いところはそのままで、もっとあらゆる面で「エッジの効いた」という熱量や面白さを追求しても良いのでは?と思っている。「東京に負けるな」ととても思う!
- ・市民団体の立ち上げに関しても規定が多すぎて断念せざるをえない。市民団体が公共施設を無料で使えるようにしたり、使える場所があることを知らせたりしてほしい。
- ・市政を取り巻く環境が変化している。もはや団体を維持するだけで大変なので、生活に一番近い団体だけで良いと思います。
- ・官民がもっといろいろなプロジェクトを協働できるようになればいいなと思います。
- ・「もう少しこうだったら使いやすいな」という小さな声が拾われ、適切に改善されるまちになってほしい。
- ・生活環境の改善に向けて、女性や子どもたちの発言を取り入れてください。ぜひ、街づくりに参与させてほしい。クォーター制度もあらゆる分野で取り入れてくださると嬉しいです。
- ・「10年後のビジョン」策定に加えて、施策の実施や検証に至るまで、市民や市民団体、企業、地域団体、更には市内外の大学・学生など、多様な主体との意見交換を行いながら、まちの未来を築くことが理想。
- ・都市まちづくりの理念やビジョンをつくるべき。これまでと変わらない有識者や市内大学教員では未来創造はできない。(市の職員や委員会メンバーで広く学ばれている方は少ない)圏域外からホンモノの人材を招きつつ、民間市民を登用すべき。全国各地や世界の先端事例や人物から、市の関係者が学ぶべき。
- ・市民参加型の問題解決ワークショップを継続し、市民と行政と一緒に取組んでいける町になるといい。
- ・胸を張って魅力有る金沢市と言える構想、周りに振り回された構想では無く、市民と対話して金沢市を作り上げて欲しい。

(暮らしやすさ)

- ・若者から高齢者まで世代の垣根なく、文化、芸術、スポーツ交流が盛んで、市民同士の笑いが絶えない世界一幸福な街。
- ・あらゆる人びとがそれぞれ適度な距離感を保ちながら、仕事に楽しみや喜びを感じつつ、文化や芸術、スポーツ、娯楽などに日々の活力をもらえる素敵なまちであってほしい!
- ・どの世代も社会の中で生きがいを見つけ、輝ける街。
- ・金沢のおばあちゃんの家、というイメージを持ちながら、都会に引けを取らない施設や機能をもつ都市でありたい。
- ・若い人や若いファミリーが楽しく平和に暮らせる、もっといきいきとした街になり、若者が定着して人口が増えることを望みます。
- ・超高齢社会は若者が介護や資金で苦悩するどころか、今までにない、豊かで魅力的な人生の選択が可能となる社会にできる、モデルケースにするためのしくみの有機的なつながりのデザインに関心があります。ウェルビーイング、健康は、心(生き甲斐)、栄養(多様な美味しい食)、運動(社会と交わる場)で構成されると思っていますが、身体の衰えと共に低下する高齢者の運動のデザインを、スポーツ振興と併せて、今後の中高の部活動の企業運営も計画されている中で、生き甲斐をフックにデザインできると面白い。

- ・どの年代の人も、単身生活者も安心して暮らせる。孤立する人をなくす。
- ・ハードへの投資だけでなくソフトへの投資も行い観光偏重でなく住民が実感を持って暮らしやすいと胸を張れる街。
- ・各年齢に応じた生活環境を作り出して欲しい。
- ・お年寄りも若者も自分の意志でここに住みたいと思える仕事、環境、人との交流、教育などがあれば良いと思う。
- ・高齢化や独身者が増えている状況を鑑み、誰もが心地良く住みやすいまちになってほしいと思います。
- ・市街地だけでなく、郊外も含め高齢者に優しい住環境(公園、交通、福祉サービス等)が確立した金沢の姿が見たい。
- ・雪の災害の改善、高齢化の為の対策、子供たちにどう金沢を残していくか。
- ・地域レベルで住民が住みやすい(安全で快適に生活できる)ことが重要。
- ・若い人の世帯が住みやすいこと。
- ・子どもが成長し、金沢に住み続けたいと思うような居心地のいい街にしたい。
- ・雇用が守られて、子育てしやすい。文化・芸術を日常的に楽しみ、高齢者も外出しやすく、安心して暮らせる住環境がある。
- ・暮らしやすさや町のコミュニケーションが図られる施設づくりとソフトが図られる形をして欲しい。
- ・固定資産税、市民税の軽減。用途地域の適正化→適切な条例規制。平等性を持たず～市民の満足～向上に継がる。イベント、フェスティバルに参加できる時間的、金銭的余裕を持てる生活状況が大事先決。
- ・金沢が10年後にも活躍するには、潤沢な「補助金」ではなく「減税」です。市民税や住民税の減税をして、手元に残るお金を増やす。他地域から金沢に住みやすくなるでしょう。
- ・金沢市の中で貧富の差が大きい。
- ・住民税の減額。
- ・思いやりと感謝があふれる 温かいまちです。金沢の市政についてもカフェで気軽に話せて、選挙にも当たり前に行ったり、金沢をよくしようとしたり愛する人がたくさんいる。(投票率80%)病院もなるべくリピーターは作らないで、健康な人が増える。(何歳になっても石川県立美術館に行く坂道を歩ける位)金沢に住んで良かったと皆が感じている。

(環境保全)

- ・自然環境破壊がこれ以上進んでいない姿が望ましい。
- ・地球温暖化対策が必要。
- ・ゴミ袋有料でもいいが、10枚 450円は高い。京都など分別しなくていい地域もあるのだから、参考にしてほしい。

(安全・安心)

- ・文化芸術面だけでなく、安全面を含め全てにおいて、日本海側のリーダー都市になって欲しい。安全が保たれてこそ、文化芸術の発展がある。
- ・市民の防災意識が高まり、避難時の対応が成熟していること。自主防災意識が一層高まることが必要。
- ・内外格差のない防災面で安全な街作りを求めます。

- ・老朽化したものが更新されて訪れるにも安全な街、住んで安全な街であること。
- ・災害対策
- ・東京首都直下地震と南海トラフ地震への備え。国として大きなマイナスが起きるタイミング。被害が少ないと思われる金沢から、支援をする準備。

人づくり(子育て、教育、生涯学習など)に関する意見

(子育てしやすい環境づくり)

- ・子育てしやすい環境が整っている。質の良い教育が、お金をかけなくとも受けられる。周りに頼れる親族がいない転身者でも地域コミュニティを利用すれば、一時的に子供を見てもらい、共働きに出られる。都心から金沢に移住してもよいと思えるような子育て環境になってほしい。
- ・20～30代の女性が住みたいと思えるような、魅力的な職と子育てがしやすい環境のある街。
- ・子どもの増「子どもを生みやすい町に」が必要である。高尚な理想を掲げることは良いが何より足元を固めていくことも大切である。
- ・10年後、仕事をしながら子育てしやすい環境というのが理想の金沢です。極端な意見を言えば、働き盛りの20代から50代が多い自治体が最も将来性が多いと言えます。この世代が生活しやすいと感じるには、やはり子育て世代と重なる為 子育て環境も併せた取り組みをしていただけると嬉しいです。
- ・近所つきあいが少ない、転勤などで祖父母に頼れないことの多い昨今、地域で子育てしていた数十年前の知恵を参考にするのもよい。小中学校で地域の力を有効活用、先生方の負担を減らし、子どもにより目が届く。子育てに地域力を投入し、小学校入学までに、親も子も心の力を養うことで、学校の先生の負担も減る。社会全体で子ども、人材を育ててゆく。
- ・「日本一子どもが住み良い都市の実現」への転換が必要です。市内の定番観光地周辺は小ぎれいに整備されていますが、そこから少し離れると街並みは年々衰退する一方で、10年後の金沢は老人ばかりが目立つ観光都市になりかねないと感じるのは極端でしょうか？子どもが住み良い都市金沢に全国から若い方々を呼び寄せる、単にお金を配るだけではない持続性のある施策を若い市長に期待いたします。
- ・子育てしやすい市になってほしい。
- ・子育て層が安定的に生活できる基盤が整っている金沢市。
- ・観光や歴史、文化も大切ですが人と人の繋がりを大切に若者が夢を持って、働くことができ、子育ての環境が整ってくれていると良いなと思います。家の周りに子供の声が聞こえるのは、元気になります。マンションやホテルを沢山誘致するのも、今の新幹線ブームが終わり、空きがでたら、どうするのでしょうか、老人ホームにでもするのでしょうか？皆が落ち着いて暮らせている事を望みます。
- ・結婚したい人(離婚経験者は除外)がみな結婚についての研修や婚活、子供をもてるようになるといい。
- ・保育、教育、福祉施設を増やすばかりではなく、そこで働く者の待遇を改善してやってほしい。役所も保育、教育現場の意見を現場の職員から直接聞き役立たせ、市民のため、金沢のために機能できる役所であってほしい。子どもを支える職員、高齢者を支えている職員たちを、金沢市が一丸となって支えていかなければ、いくら産業が発展しても将来は無い。

(子育て支援)

- ・若い世代が不安なく子育てができることが重要。経済的にも教育的にも充実していないと、むずかしい

と思う。公的支援も必要ではないかと思う。

・もっと気軽にママたちが相談できる場所を増やす。

・転職が自由にできて、子育てママでも、働きやすい環境…。可能であれば、早めの預かりが可能な保育園があれば。病児保育のハードルの高さ、保育園で熱が出た後に少し預かってくれる場所があると良い。

・子育て世代は今どきの若いご夫婦が多いが…利用する児童館や施設など整備が整って居ない(古い感じ…)所が多いと感じられる。(例えば、オムツを替えられるスペースが無いなど)

・都心から若者が移住しやすい制度、婚活を積極的に支援する制度、子育て共働き世帯を支援する制度を整えると人口が増えて、活性化につながると思う。子育てのベテランの高齢者を育児支援事業へ積極的に採用してはどうか。

・20代なので、公的な結婚サービスを今まで以上に設けたり、保育料と義務教育にかかる全ての費用が無料になっていたり、小さな子どもたちがたくさん金沢の歴史に触れられる町になってほしい。

・子育て(大学まで)世帯の税軽減、免除策、周辺の野々市市への流出を防ぐ策。

・給食費・子ども医療費、保育園の無償化や、2人目3人目への経済的支援など。

・子育て世代への支援(保育料の支援、共働き世帯への補助)が充実すれば子供が増えると思う。現状、子供が少ない状況なので、一定数まで増える・増やすまでは継続した支援を希望します。

・子育て支援に力を入れて、妊娠中・赤ちゃん子育て中の世代を呼び込めれば、家も建てますし、子どもの学校の関係で簡単に引越しもしづらい。観光に力を入れるのも良いですが、1回の旅行ではなく、ずっと住んでくれる人が増えるといいなと思っています。

・子どもの医療費無料、高校まで学費無償。保育、教育従事者の所得増額による質のいい人材の確保が十分にされている。

・現在子育て中です。実家を頼れない為、負担が大きい。ファミサポ等もあるが、もっと気楽に安価で利用できるサービスがあって欲しい。もっと子育てサービスが充実していたら良いと思う。就業など関係なく預けられる施設、送迎バスのない園へ送迎してもらえるサービス等。

・シングルマザーで送り迎えが出来ず習い事をさせてあげられないのでそういったサービスがほしい。

・子育て施策や教育に関して、県内他市町と比較して大きく遅れている。

・子どもたちの教育に関する負担軽減。

・ダスキンを呼びたくても高い。これも旦那がいるから確か掃除のサービスうけられないんですよね。親子共々精神障害なのは旦那がいるから支援なしとかもう勘弁してください。

・児童館では未就学児の取組をしているのに、児童クラブの要素が多いと感じる。何か行きにくい環境である。利用する際のデジタル化や施設の充実、スタッフの資質向上を願います。

(子どもの遊び場)

・公園(特に砂場のある)が少ない。安全にボール遊びができる、自転車の練習ができる公園が各小学校校下に一つはあるべきと思う。自転車練習に非常に困っているので。公園なのにボール遊びできなければどこでするのか。

・天気の悪いときに小学生以下の子どもたちが遊べる場所が少ないと思います。あめるんパークでしたが、もっと小型でもいいので増やしてほしいです。

・小さな公園は多いが駐車場の大きな公園が少ないと思うので、子どもも大人も自由に遊べる環境

が欲しい。芸術村や姉妹都市公園はよく利用します。

・金沢は一年を通して天候が悪い日が多いので、子供が天気関係なく体を動かしながら、ついでに学べる施設が何ヶ所かあれば良いと思います。児童館とは少し違う、テーマパークほど大規模じゃない、テレビで観たうちになってみるとか、虫目線になってみるとか。石川県内どこに行っても、イオンみたいな同じような施設ばかりで面白味がない。

・県外から金沢に訪れるのは観光がメイン。成人や年配者が楽しんで観光や散策する方が多い。なので、子供が楽しめるアミューズメント施設を作って観光と遊びを結びつけば集客が望める。

・子どもがのびのびと遊び、学べる場所があるとよい。

(子どもの居場所)

・共働き世帯でも安心して子供を預けられる施設を増やして欲しい。現状、学童保育は中学年位で居づらくなる。

・放課後子ども達を誰が見てくれるのか？塾や習い事、送迎。民間サービスを大胆にとり入れる必要がある。塾(宿題をする所)+学童(預かり時間)+子ども食堂+？

・子どもの放課後、休日の居場所的な習い事にとられないものがあるとよい。大学生、高齢者、社会人などとの交流できるもの。何と言っても、子どもの不幸せ(いじめや自殺など)がいちばんの対応することが、地域の活性化、に寄与する。たくさん大学があるというのは金沢、石川県の良さ。

・学童保育なども指導員のがんばりだけではなく、専用の施設を整備して、安定して働く親子が生活できるようにしてほしい。

・保育士の処遇改善

(障害児支援)

・観光客の方ばかり向いてないで、発達障害への支援、精神病のまま発達障害の子育てをしていく親への支援は無いに等しいです。そのところどうにかなってほしい。

・発達支援の拡充。公立学校のアップデート。

・発達障がい支援センターの設置。

(教育)

・少子化対策として、教育について金沢市独自のシステムを作り出す。既存のシステムはダメ。

・英語教育に力を入れるべき。小学校にもっと多くのネイティブスピーカーの先生を配置すべき。雇用を作り日本人教師と競合してもいい。日本人教師の日本語発音だけでは英語耳は育ちません。アルファベットを書くキレイさや形ばかりにこだわっていると会話は上達しません。小学校卒業までに全く円滑な会話できていない、いくつか単語を並べるので精一杯。

・宿題の量が多すぎます。あれでは勉強が好きな子でも毛嫌いするほど勉強嫌いを生み出している。英語も数学の問題も無駄に難解になっていて、基礎学習力を高めるところか逆効果だと思いますよ。

・通知表評価の基準も曖昧。もっと教師の質向上、授業の質向上になにかできませんか？

・教育立地格差の是正。

・子供たちが色々なものや文化に触れ学び感じて、沢山な世界を知っていける。知ることで選択肢を増や

していく。色んな年代、人種などなどで触れ合える機会がもっともっと身近になるといいなと思う。まちなかのイベントだけでなくもう少し小さなコミュニティでもできると参加しやすい。

・生まれた子どもに対しては、金沢への愛着が湧くような教育を行い、地元に残ってほしいような人材を育成すべきと思う。

・子どもたちが伸び伸びと育ち、金沢が誇りとなるような教育のあるまち。

(学習環境)

・小、中、高各学校に生徒に対するセラピーカウンセラーの配置を各学校に2名以上配置して、教育に配慮してほしい。

・デジタル化を進めて、学校に行けない子が教育を受けたり、障害や病気などで社会活動できない人ができるような街になってほしい。

・誰一人も取りこぼさない教育の実現に向け、不登校特例校の設置と新たな教育モデルを金沢から発信し、働き方改革、教育改革の先進市になって欲しい。学校に行けず悩んでいる親子に眼を向けてほしい。

・もっとフリーで自由な学校が増えてほしい。

・インターナショナルスクールやフリースクールなどの様な、学校以外の教育の場を充実させてほしい。伝統、文化、山の自然に海の自然が充実した石川なら、地元で根付いた独自の教育を生み出せそう。

・子どもたちが家庭の経済状況に関わらず望む進路に進めるようになってほしいなと思います。

・幼児時代からの教育環境が充実することを期待しています。

・保育所や学校の老朽化が目立つ。子どもの教育を大切にしないと、金沢に子どもが残らなくなってしまう。

・学校の洋式トイレ化、エアコン設置はこれからの時代必須であり、むしろ着手が遅いと思うけど、やっと進んできて良かったです。

・うちの小学校はブランコや鉄棒が経年劣化で使用不可になって7年。いまだ新しくならず、ブランコや鉄棒が出来ない。学校でこの状況はおかしい。体力作りも危険回避能力も育たない。

(生涯学習)

・共働き世帯でも参加できる公共施設での講座(体操教室や水泳教室)を増やして、学びの機会を平等に与えて欲しい。

・住む人や育つ子供達が金沢に愛着や誇り、繋がりを持てる地域。巣立った子供達が再び、帰って就労や子育てしたいと思う場所。

・金沢に住む楽しみを最も大切にしたい。それから充実してゆけば、学生も移住者も観光客も住む人も増えていくと思う。

・金沢市内には大きな書店が少ない。中心部に集中している。購入しないと駐車場料金がかかるというのはよくない。文化を重視する市政だからこそ、行政が中心になって書店の増加に投資してほしい。小さな書店はほぼ閉店してしまっているので、三省堂やジュンク堂などの大型書店を市主導で誘致してほしい。富山の文苑堂書店は北陸本店の書店として誘致することも適切だと思う。図書館の蔵書はどうしても古くなるので、子どもの将来も見越して、市民と新刊の接点を増やす努力も必要。

(学生・若者)

- ・エジンバラは、フェスティバルが素晴らしい。ただ金沢との違いは、市民、特に若者とのコミュニケーションが少ない。理由は金沢の大学が金沢郊外に迫られている。10年後に若者が街中で活躍する場をつくっていただきたい。
- ・学生が4年間(～6年間)楽しめる都市を目指して頂きたい。(居住、生活費も含めて)
- ・有名所の私立の金沢キャンパスとか誘致できませんかね。大学進学で、こちらの私立大学だと賢い子はみんな外にいてしまいますよ。
- ・私立大学への助成ではなく、国公立の大学への助成を行い、学生が活躍できる場が増えればと思う。優秀な学生の卒業後の活躍の場が金沢に少ないので、優秀な若者が活躍できるようになってほしい。
- ・学生が住みやすい街に。新天地のような飲み屋街が残るように！
- ・歴史、文化などの学習機会を作り、若者を導く品性ある町にしていく。
- ・若い人が増えて活性化しないと衰退するので、そこに注力したまちづくりしてほしい。
- ・まずは市の職員から多様性、若い人の力を発揮してほしい。
- ・今の20代の人々が主体性を持ち、主役やヒーローになれる街を作っていくこと。

(人材育成)

- ・人材育成に力を入れて、その人材が首都圏などに流出せず金沢で生活できるような政策の結果、活気ある都市となる事を望みます。教育インフラ、子育て世代を支援する仕組み、優秀な人材の雇用環境。生活のしやすい生活環境(道路や交通機関も含め)の整備を進めて欲しい。
- ・金沢で人材を育て金沢に貢献できる人づくり、県外に出て行く美大のあり方は疑問に思う。県内の高校生を対象とした推薦枠があっても良いのでは。公立小松大学は市内推薦枠、県内推薦枠がある。
- ・チャレンジ、夢に寛容で支援される土壌・教育が大事。
- ・シンポジウムにもあった「主役がいてもそれを支える人材が金沢には少なすぎる」これがとても印象的でしたので、その視点も必ずフォローして欲しいです。
- ・文化保護や教育・医療政策も役職ある人だけでなく、実績による選定や公募でも人材を集めて、新しい金沢を作ってほしい。

(多様性)

- ・多様な人々が個性を活かして活躍している。
- ・多様性を尊重し、誰もがみんな、このままでいいんだよ、と認められる金沢になってほしい。
- ・もっと多様化が進んでいることを望む。人種、国籍、障害、LBGTQ など。例えば、多様な国際的カンファレンスなどを東京から金沢まで引っ張って来る。最初は一部でもいずれ大きなカンファレンス会場を持つようになったら全てを金沢で毎週引き受ける。観光関連収入増加(リピーターの確保)にもつながる。
- ・人種や宗教、障害の分け隔てなく全ての人々が住み良い場所になってほしいです。一部宗教の支援を受けて偏った市政ではなく、弱者を助けられるような環境のある場所がいいです。
- ・昔のしがらみが強いので、本当の意味での多様性を認める社会を。
- ・同性婚が実現された未来であってほしいので同性ファミリー制度も実現してほしい。多様な子育て、家族の形の実現が住みやすさや生活のしやすさ、心の安定に繋がると思う。

・硬直的な仕組みや地盤が少しずつ変化し、多様な人が生きやすい環境にするため、男性の立役者としてではなく、女性も活躍できる環境整備(子育て環境整備、男性へのハウスワークの働きかけ)を作ったり、多様な生き方を促進したり、同性婚への賛成の体制を整えたりして欲しいです！

(リスキリング)

・いくつになっても、学び続ける社会。学歴だけじゃなく、専門性を持って学び、働きが実現できる社会の構築。
・全ての人が学び続けている。

(人口減少)

・人口減少に対する、市民による認知共有と草の根レベルでの対策検討が望まれます。
・人口減少問題を、全国一取り組んで欲しい、そして、解決策を小学生や中学生といった幅広い意見を集約する場を庁舎内に設置をして欲しい。
・人口減、高齢化により過疎化が進行し、交通体系減少がみられ、益々住みにくい形にならないのか。
・金沢市でも他市町と同様人口減少が進んでいるが、若者の転出を防ぐ対策を取る必要がある。移住者を求めるのではなく地元住民の転出を防ぎたい。
・明らかに少子高齢化が進んでいるように感じられ、10年後が不安です。I・Uターンの推進、リモートワークの社会人の取込み、県外出身大学生の県内就職推奨等、若者世代へのアピールが大切になってくる。若者はインターネットでの情報収集・情報拡散が得意なので、まずは1回思い切った手を打って全国規模で話題になってみるのもありなのではないか。
・2030年問題に前向きに取り組む、未来創造都市であってほしい。

仕事づくり(新事業創出、産業振興など)に関する意見

(新事業創出)

・アート(芸術、音楽)×DX(デジタル化)×GX(ゼロカーボン化)の相乗効果による新しい産業につながるまちづくりに期待しています。
・人口減少、何で食べていくのか、産業の創出が重要。
・都市内の交流人口が増加し、学生若者の活力がある街であり、再構築を検討している金沢駅東の旧都ホテル跡やまちなかの日銀跡などがデジタル化の先進拠点と歴史・伝統を活かせる新産業創出拠点として整備されていること。
・東京や海外の企業誘致をもっとしていただき、文化芸術と産業、自然科学(大学)のコンバージェンスが進んでほしいです。
・(鉄軌道系)交通環境に優れ、文化と技術(ITとか)が高度に融合した、本店経済により邁進する、北陸のトップランナーであれ。それが望みです。
・封建的なことや過去の利権やしがらみを排除しなければ、10年後はこのままでしょう。抜本的に改めなければ県外企業の進出も望めなく他から取り残されると思います。新幹線の大阪延伸や観光産業にだけ頼っていては望みが薄い。攻めの施策を願いたい。
・外国人留学生の北陸での就職起業、起業家が集まる。

(地域産業振興)

- ・伝統工芸や地域の産業が、単に維持されるだけでなく、より成長でき、地場産業をもとに自ら経済的に発展する街であるといい。
- ・よそ者を受け付けられないような傾向が産業、社会にも感じられる。また商売っ気がなく感じ取れ、美味しいと評判のお店に行っても時々がっかりする。嫁いで 15 年近くになりますが、地の者だけで産業を盛り上げていくだけでなく、うまく取り入れたりするのを推進して貰えたらと感じます。
- ・住み良い街であるため 産業や就労環境を充実させ人口を減らさない様に行政の工夫が必要。
- ・観光ばかりに頼らない、もっと違う新しい産業都市の金沢になって欲しいです。情報公開で常にトップクラスに。
- ・まちの商店の維持、存続をどう進めるか。
- ・地産地消を応援し、生産者を増やし安心安全な食料供給。
- ・自然(海川山)の活用、その本質を理解する人のメッセージを多くの市民に伝えること。
- ・空いた農地の活用で、市民が家族で農業体験出来る場所、ふれあい農園を増やして欲しい。また、そこで農作業の指導も行なって欲しいです。
- ・農業のIT化
- ・休耕田や休作畑、里山、森林など、個人で管理できなくなった土地を再生し、環境維持改善、食料の自給率向上のための施策を望みたいです。このままでは、ますます環境が壊れ自然災害にもろい社会になっていくのではないかと不安になる。
- ・健全な森林整備

(雇用・働き方)

- ・少子高齢化の中で持続可能な社会を築いていくためにも、年齢を問わずに社会活動、経済活動に参加できるデジタル化や雇用の場の創出が必要と思います。
- ・一線を退いた後でも、希望に合わせた安定的雇用があること。
- ・若い人達の労働環境をととのえる。若い人達が子どもを育てる力が生まれる、活気あふれる町づくりになると思う。
- ・就職氷河期世代も雇用と決定の場において活用してください。
- ・若者が、やりがいがあり働きやすいと思える環境が整っていること。
- ・労働安全が重視された企業体制(医療、介護の施設は特に)。
- ・物価を安く。収入を高く。職業の選択の自由度を高く。若い人がチャレンジしやすい環境を。
- ・暮らしやすさの面で、物価が上がってもしっかり賃上げがなされている街であってほしいと思います。
- ・観光産業だけに依存するのではなく、雇用の創出(安定した仕事)を確保する必要があります。都市の機能を活かすのも、人口が増えないとどうしようもないと思います。環境や教育、農林水産などを活用した雇用や他産業による雇用を生み出して欲しいです。
- ・最低賃金を上げて老後の貯蓄ができる環境で安心して住みたい。
- ・若い人が都心へ行かなくても金沢で暮らしていける雇用、子育て支援があればいい。
- ・都心部と変わらない生活環境。テレワークが普及し、他県(特に都心)から移住してきた人たちにも住みやすい、都心と変わらない、と思うような都市にしてほしい。

(女性活躍促進)

- ・政治家も行政の管理職や企業のリーダーにも女性が半分占めていたらよい。家庭や地域社会にもジェンダーバランスや多様性にあふれたまち、みんなが意見を言える風通しのよい風土になってほしい。
- ・男尊女卑のない、能力のある人間がその能力を発揮できる環境を与えられる場所になってほしい。

(デジタル)

- ・コンパクトシティであることを活かしたデジタル文化都市を目指してほしい。(モビリティの利活用をデジタル技術で率先することや、少ない人員での文化財保護、オンライン診療の活性化など。)
- ・古き良きを、重んじすぎて、全体的なデジタル化が遅れている。もっと先進的になって欲しいです。
- ・デジタル化、他の地域と協力してオープンソース化が適切に出来るようになる。

都市づくり(都市基盤、交通など)に関する意見

(都市開発)

- ・歴史的街並み保存エリア周辺の制限規制は賛成だが、金沢駅周辺や金沢西口方面から金沢港周辺までの都心軸エリアの高さ制限は撤廃すべき。金沢は固執した考えが強過ぎて、今の時代そしてこれからの時代の波に乗り遅れている。
- ・新幹線の大阪開通と仕事のオンライン化、そして高齢化によって、10年後、都市部からの人口流入が期待されるが、マンション乱立が懸念。本町のアリストプライムタワー金沢の南側に別のマンションがたち、一部のベランダにほとんど光がはまらない。同じようなことが北安江1丁目あたりでもおきつつある。駅の周りに住居環境のよくないマンションが乱立すると、景観もよくないし、資産価値が下がり、町の雰囲気悪化に直結しかねません。都会とは異なる住環境を期待して移住する人々を金沢に誘因するためにも、マンションの乱立には、ある程度の規制が必要。駅周りに高いマンションが乱立すると、光や眺望が抜けなくなり、金沢の良さが台無しな雰囲気になるのでないかと懸念します。
- ・都会並みの整備に人の心が加わった、憧れられる街になってほしい。なびかないというのもひとつの芯としてあって欲しい。
- ・都ホテル跡地は金沢市が購入すべきである。緑地公園等に利用したら良いのではないか。景観も良いのではないか。
- ・金沢都ホテルの跡地の活用について4年ほど放置されているが、市としてはどのような活用方法を考えているのか。市としての青写真を示してほしい。
- ・金沢駅東口(旧都ホテルあと地)の利用、金沢市として市民が利用できる開発にたずさわれないか。
- ・日銀跡地、県立図書館跡地、都ホテル跡地の活用(富山のオーバードホールのような施設、劇団四季の常設劇場を誘致、オペラができるようなホールは不要)
- ・海外からクルーズ船を利用して多くの観光客が金沢に訪れます。金沢港クルーズターミナル付近で金沢市を眺望できる高層タワー(高層ビルの最上階の展望フロアまたは高さ100m級の金沢ポートタワーのような観光スポット)の建設促進を。
- ・金沢の最高に美しい街並みが造り上げられます。また、金沢港ライトアップと相まって神戸や韓国釜山のようなポートタウン開発を(金沢港いきいき魚市周辺含めた一体的なエリア開発を)促進して頂きたい。
- ・大きなコンサート会場を造ることが必要。県内外から公演に来る人が街の活性化や景気の向上にも繋が

るのではないかと。今後人の流れがより活発化することが予想されるので、コンサート会場のみならず、その時代に合わせて遊べる空間がもっとできることを望みたいです。

・旧町内と開発地の見直し(道路、生活環境、地区の見直し等)

(都市基盤)

・誰もが安心して歩ける道路整備。ゴミ捨場の整備。これらの基盤を整備することが、10年後の住みやすい街、観光客の誘致につながるのではないかと。

・まちなかの渋滞対策として片町のスクランブル交差点を廃止するか人の少ない平日の日中は非スクランブル化してほしい。

・10年後は、もっと観光都市として、栄えていると思いますが、街中の渋滞がひどくなっているようでは困ります。地下鉄などのクルマとは、また別のインフラ整備が必要ではないかと思えます。

・小学校の跡地に商業施設と子供の学童施設や保育施設と老人のショートステイ施設を融合させた建物をつくってほしい。買い物もできる、子供も預けられてジジババも一緒に過ごせる施設があれば、不要な役職は少なくできるし、その分働く人にお金を使える。高齢者も健康な人なら小遣い稼ぎができる人も集まるし、人が集まれば、図書館の移動車両もきやすいし、光熱費も助かる。

・浅野川や犀川、用水、公園の樹々などの自然資源や生態系を大切にしている。

・市はもちろん、県・北陸の圏外からも常態的にヒトの流入、流出が絶えず、また日本海側の物流・流通の拠点として基盤強化することに期待しています。

・地下道の普及。北陸ならではの変わりやすい天気に対応するためにも金沢駅から武蔵ヶ辻までの地下道の整備が実現できるとよいのではないかと考えます。今は中途半端なのではないかと感じます。地下道が整備されたらそこにお店なども入って活気づくのではないかと考えます。

・大雪時の県外へ行く道の整備を更に強化してほしいです。金沢は車社会なので、道路の整備等を推進し、他市、他県と更に行き来しやすい街になることが望み。

・中心部(金沢～片町香林坊、東茶屋方面の動線)がコンパクトなので観光客含めて歩いて移動をする人が多いと思うが、歩道が狭く混んでいる。地下道のようなものを整備して人と車を分けたい。

・子どもが安全に登下校や生活ができる歩道の整備。

・災害が多い中、洪水を防ぐための地下タンクや、電気や水道がとまった時用の臨時機能、土砂災害警戒区域が未だに砂防工事が進んでない等々、今のまちなみを保ちながら、備える力をつけるべきと感じます。

(景観保全)

・金沢の景観、歴史の文化的都市の景観を大切にしてほしい。新しいものと、古いものの混在もいいが、大切にすべき歴史的な景観を崩してほしくないですね。

(中心市街地活性化)

・金沢らしさと新しさを取り入れた、観光客も地元客も楽しめる新しい商業施設を作りたいです。

・歴史的な家屋や古い建物は壊されたり、空き家化が進んだりしている。若い人は郊外の広い土地を求めて、現代住宅に転出している。古い家は寒かったり住みにくかったりと敬遠されている。スーパーもほとんど

ど郊外で、高齢者は買物難民となってしまう。美辞麗句を並べた文章ではなく、住民が主役で、行政はそれをバックアップして欲しい。市内中心の空洞化は大問題と10年後にならないように。

- ・中心市街地への人口集中と社会資源の集中化が必要と考えます。
- ・10年後の香林坊片町エリアが大変心配です。成り行きでは衰退は目に見えている。芸術・文化の特化エリアを目指すなど金沢市としてビジョンの発信や施策が必須。
- ・屋内だけでなく、屋外のオープンスペースなども活用した豊かな暮らしがまち全体へ広がってほしい。
- ・まちを活性化させる為、現況を把握し、全国に発信させる取り組みが必要である。
- ・若い人が旧市内の街中にもう少し住むといいなあとと思う。難しい問題だけれど。
- ・若い世代が集えるまちなか。
- ・大学など人の集まる機関のまちなか移転
- ・中心市街地のインフラを活用した住宅地を供給。
- ・コンパクトシティ化。少子高齢化も進み、公共インフラ整備の負担も重くなるので、まちなかの空き家、空きオフィス、空き店舗をリニューアルし再開発を進めて欲しい。夜間に市役所の周辺が真っ暗と言うのはいかななものか？

(都市計画)

- ・中心市街地に偏らないで、全体を考えて行けばと思う。
- ・中心部以外の地域の活性化。
- ・中心地以外の市民が暮らしやすい金沢。
- ・市民サービス向上の為に観光地と居住地の住み分けが必要、金沢市南部に新たな都心軸が必要。
- ・市街化調整区域の拡大、簡素化。
- ・市街化調整区域への対応と実績の構築及び評価。
- ・地価が上がりすぎ、若者が住み着けなくなっている。また、市街化調整区域では、地元に住もうとしても法律的に不可能。(小規模の兼業農家ないしは廃業農家が増えているため)考え方を変えないと子供のいない都市になっていそうでこわいです。
- ・市街化調整区域という視点でなく、農村都市環境の未来の姿を描いてほしい。市街化区域に人口が増えるだけの未来ではない。もう農業で生活して行ける時代ではない。市として対策も立てずに、農業を推進しているとしか思えない状況。10年後は北部地区に荒地が広がっているかもしれない。
- ・市街化調整区域の負債農地を持つ農家を救って欲しい。
- ・東方面の発展と、市街地に住環境を整備しコンパクトな町で少子化に対応できる。
- ・北部地域はお店も少なく、市街地や野々市方面との生活格差(交通の便含む)を非常に感じる。あまりにも交通の便が悪すぎて実家を離れた。湯涌地区もそうではないか？

(公共施設)

- ・公共施設等のフリーWi-Fiの整備が必要。
- ・公共の多目的トイレや休憩所、障害者用の駐車場などを作って欲しい。
- ・すべての市役所や市の施設、図書館の駐車場も無料にして、通いやすい環境を整えてほしい。

(住環境)

- ・ショッピングセンターや病院、学校を中心にその周辺の住宅整備を行い暮らしやすい町づくりを行政、企業が協力して計画的に行ってはどうでしょうか。
- ・生活しやすい場所は家賃や土地の価格が上がっていて住みにくい。生活にかかる費用もどんどん高騰している。若い独身者(社会人)も一人暮らしをしやすいように補助をしてはどうでしょうか。一人暮らしの方が恋愛しやすく、少子化対策にもつながると思う。
- ・田畑が減り、住宅街が増えました。街路灯も少ないし、ゴミ捨て場もどんどん手狭になってきました。住みやすい環境づくりを進めてほしい。
- ・市内全体の空き家、まちなかは利用価値有るが、郊外の住宅は築年数も古く、解体のみの状態もあり対策が必要。
- ・子育てと住環境の整備を一体化した政策を希望します。小学生の時、『のびゆく金沢』を眺め、金沢市は人口が 50 万以上になるのだと期待したものです。

(空き家の利活用)

- ・空き家の活用(空き土地に住宅を建てられるようにして、子育て世帯を増やす、市が斡旋・借り入れして大学生に貸しお年寄と若い方の繋がりをつくる、コミュニティ活動の場)
- ・空き家が多いのは、元々住んでいた若い住民が、親と同居出来ず、新しい土地家屋を求めて近郊に出て行き、親世代が亡くなくても、家を建て替えることもできず戻って来られないから。昔のままの細い道路事情、建て替え資金の調達が出来ない事情もある。戻ってきたい人の為に、建て替えの補助金がほしい。
- ・今はまちなかに若い家族が減って郊外に増えている気がします。若い世帯がまちなかに家をもとうと思うと地価が高く中々買えなかったりするが、空き家のようなところに若いエネルギーがあると活気がでそう。
- ・空地、空き家を住居として使用し、町の範囲を拡げず、コンパクトシティにして、道路、水道等インフラ費用を増やさないようにしてほしい。

(移住・定住)

- ・観光による交流人口の増加も必要だが、新たに定住する人を増やす必要がある。首都圏からの移住促進を実現させ人口の低下を現在の低下率の 80%位に止まってほしいものである。
- ・移住促進の情報をほとんど聞くことがない。発信強化してほしい。Iターン、Uターン以外にも必要。
- ・最新技術を活用し、金沢に住んでいる人も住んでいない人も金沢に関われるようになり、最終的には金沢への移住希望者が増える未来を思い描いています。
- ・定住者の増加促進施策を打ち出してほしい。住居購入助成や公共交通機関の拡充、医療費助成など。
- ・自分は富山の高岡出身だが、出来れば一生金沢で暮らしたいと考えている。住まいが町と駅から近く便利だからだ。が、他市町村の移住、出産手当にも惹かれるものがあり、10 年後結婚出産後の不安もある。
- ・テレワーク実施者の移住促進による納税確保策など。

(雪害対策)

- ・昔から観光地としての金沢は大好きでした。住むと違う面を知りました。北陸の人柄は、こんな天気に耐

え続けているからかとても我慢強い人ばかりですね。若い子たちはしんどくて、太平洋側へ引っ越したくなるかも？と同情してしまう天候です。雪かきや雪による障害が少しでも減らせる街づくりをしないと若者離れは進んでしまうかも。50代の私も一冬越すのにもう耐えられそうにないですから。

・住環境で今の時期に痛感するのは除雪の事です。除雪デーの新聞で高齢者が除雪している写真を見ると20年前と何も変わらない様に思えます。除雪部署の部長は除雪が上手くいったと自画自賛していますが、あと数年後には後期高齢者が除雪する写真が新聞に載る事になるでしょう。金沢に住むには除雪の事を真剣に考える行政担当者が必要だと思います。

・雪かきボランティアが郊外にも来てもらえるように。

・雪かきは、公共機関で行ってほしい。雪かきする・しないで、毎年人間関係が揉めていて美しくない。・除雪の技術向上してください。道の真ん中に三角で雪が残っている、二車線道路が一車線化、など雪国とは思えないほど除雪が下手です。

・細い道も全部融雪設備のある街。

(公共交通)

・郊外と中心部を繋ぐ公共交通の充実が必要と考える。中心部でも、少し外れると車社会でバスがない。15分単位程度で定期的に運行しないと利用者は減ると思われる。市が北鉄やJR西日本バスと協力して対応する必要がある。

・森本方面の子供達を通いやすいようにバス本数を増やしてほしい。

・環状線にバスを通して欲しい。

・公共交通の主力はバスで、北陸鉄道は浅野川線と鶴来線に分断され、中心部は通っていない。非常に非効率な交通機関となっている。富山市はコンパクトシティと方針を立て、市内を低床路面電車が走っている。10年後の交通機関は何が残っているだろうか。

・乗客がないまま空バスで路線を往復するくらいなら薄利多売感覚、その為には、煩雑な料金設定と人員、路線、利用者の時間、行きたい所等ニーズをベースにした再構築を元に路線申請、見直しもしてほしい。

・浅野川、犀川のなかの市街地は、観光、地元民に便利な足として循環ルート再構築。郊外線は郊外から川を越える辺りで循環バスとして折返し、市街地循環バス乗換バス停を経由する。

・市街地は観光客、住宅の足、それに接続出来やすい放射線状に伸びる郊外地への循環。放射線状の路線を円で結ぶ環状バス。また、料金は市内均一区間を各大学、図書館辺りまでの設定で、250円程度、観光客、郊外からの買物客等へ1日券を700円程度に、買物客は複数商圈の移動が車より楽になる。学生と高齢者向けに均一区間内パスを1ヶ月1万5千円位、3ヶ月、半年で割安にする。値上げと同時に均一区間を伸ばせば、路線の利便性も再構築が必然ですが、利用者も増えるかもしれず、均一区間を伸ばす事により、頻回に料金が変わる煩雑な雑務や設定が少なくなるのでは？

・バスだけでは無い公共交通機関を増やして欲しい。

・幹線のみならず横のつながり、近くの市町との連携した交通システム、インフラ整備の充実。

・郊外との公共交通が高度化することで港などの利活用が進んでいる金沢であってほしい。

・「チョイソコ」を是非存続させてほしいと思います。

・バスから路面電車にするなど、環境に合わせたまちづくりをすべき。

- ・地下鉄、モノレール等の整備
- ・陸、海、空の交通インフラのより一層の向上、広域連携
- ・金沢空港があればすごく良いと思う
- ・市内の公共交通に関しては、改革は民間だけでは難しいかと考えます。第3セクター等である程度、経営が見通しついた時点で、民間化を考えても良いのでは。
- ・駅西50m道路、山側、海側環状線を利用したライトレールで、金石、野田山、卯辰山などの歴史地区を結びつつ、市街地からの乗換の利便性を考えたバス停、温泉特急等を除く郊外住宅街から金沢駅へ向かう路線の駅着見直し。
- ・公共交通機関の充実。バスに代わる乗り物、ライトレール等の整備推進。富山市のような電車が市民に利用しやすくなっている例を参考にして頂きたい。
- ・トラム(BRTではなく鉄軌道系架線レス蓄電池式LRT)導入によるまちづくりは、洗礼された街並み形成には最適であり、金沢のような都市規模にはもってこいの都市装置。都市格、都市環境、都市景観。これらを全て満たす事が可能な鉄軌道系架線レス蓄電池式LRT導入を、是非とも今一度再考してほしい！
- ・観光客がいかに移動しやすくするかではなく、市民が平等に暮らせるかを考えるべき。今は観光客ファーストで市民ファーストではない。(観光客は一時的にお金を落としてくれるが安定したものではない)
- ・地下鉄または路面電車。深夜の公共交通手段の充実。
- ・アイカではなく共通ICカードを使えるようにする。
- ・意見の多数決で決めないでください。交通システム改善は他のことにも波及していくから、あれもこれも取り入れると無駄な事になる。他の都市或いは他の国に視察に行つて真剣に取り組んで下さい。
- ・MaaSなどの取り組みの促進(高齢化対策)。
- ・高齢者の増加に伴い、運転免許証の返納が増え移動手段の確保が必要。
- ・免許返納を見据え、公共交通サービスの充実を希望。中心部へは行けるが、横のつながりがなく不便。タクシー利用ではお金がかかりすぎる。

(歩ける環境)

- ・パリなどのように、車が通れない道を増やして、歩行者やスローモビリティがのんびり楽しく過ごせる居心地の良いまち。そのために、もっと緑が増えていて欲しい。
- ・車社会ではなく、歩いて楽しめる場所、住環境を整えよ。
- ・小学生の交通事故が多い。自転車などの交通ルールの徹底(暗くなったらライトをつける、歩道から横断歩道へ出るときはスピードを落とす、左折車右折車に充分注意する、横断歩道のわたり方など)。石引1丁目交差点1ヶ所ガードレールをつける(宮本酒店前)。

(広域連携)

- ・金沢が成長していく上で、近隣の福井、富山ともしっかり連携してほしいです。
- ・北陸三県+岐阜、新潟も巻き込む都市であってほしい。
- ・【周辺諸地域との連携】：金沢は他の都市や地域に比べればまだなんとかなる。問題は自治体としての金沢市が単独で成立すれば良いのか？ということ。北陸の非都市域は金沢の文化や環境、生活を支えるバックヤードとして重要ですが、人口減少と高齢化にあえいでいるようにみえます。エネルギーと食による共

同体自治が、各都市や地域ごとに成立していくことが理想と思いますが、それは個別の都市や地域が単独でうまく移行しても無理がある。周辺諸地域と連携して成立させるべきで、金沢のビジョンだけを、それも漫然としたキーワードで集めたところで、役に立つとはあまり思えない。まちづくりの方針は、それぞれのキーワードが繋がっていることをきちんと認識した上で、諸種の社会的共通資本を管理・運営・思索可能な専門家やリーダーシップのある人たちを中心に、広く寛容な視野で、まず具体的計画が練られるべき。

- ・石川中央都市圏で広域連携をおこなっているが、そのまま政令指定都市への移行を望む連携する地域単位の再編や離隔地、過疎部への配慮が課題であるが十年で土台作りをおこなう。まず県との二重行政を解消し県民市民も役人、議員も近未来への革新的な創造を行い、いいね金沢となってほしい。
- ・金沢市の現在の人口は、47万人だが、政令指定都市になるには大金沢市構想が必要であろう。
- ・金沢市だけで政令指定都市になっているとよい。

その他

- ・銀行での両替が有料になったいま、市がからむ支払いは電子決済対応にしてほしい。(公立の保育園でしたが、毎回現金集金が大変だった)
- ・デジタル化進んで欲しい！マイナンバーカードを使って色々な手続きが一つのアプリで完結する等。
- ・子育て、教育、労働などすべてにおいて、つながりがあるものである。例えば介護保険法にて国の施策が発表されても金沢市の取組は、他の市町村の様子を見極めてから発信しているように感じられる。独自のものを見極め発信して下さい。
- ・幅広い情報提供。
- ・金沢を離れて他自治体での生活経験がある方や、ふるさと納税にて金沢市を支援いただいている方より、公募にて10年後の金沢の姿を考える組織を立ち上げて議論を深めることができないか？事務局運営資金には、ふるさと納税を活用する。行政目線ではなく、市民目線でこの街の未来を展望したい。
- ・ふるさと納税の魅力拡充を。金沢市はずっと流出自治体ですね。返礼品に惹かれるものがないので、検討をお願いします。
- ・市役所職員の長期雇用をお願いします。非正規雇用が多く、仕事で定期的に市役所を利用しますが、毎月担当職員が代わる時もあり、サービス低下に繋がる。いつも同じ職員さんというのは安心に繋がる。
- ・金沢市はプライドが高く「長」がつく人ばかり増やそうとしているし、市庁舎のように箱物ばかり建て替えている今の風潮が変わると、より良くなると思う。
- ・興味のある一部の人の為の施策、イベントであっては貴重な税金を使うべきではないと考えます。
- ・次の10年に成すべき施策は過疎地区からの強制移住である。
- ・今後とも金沢市で生活していきたいので、10年後も金沢市が存続していることを願います。
- ・「金沢が」というよりも日本国全体と言えるが、住民や国民が世界の動きに対してあまり認識がなく、国内の別エリアとの比較で留まっているように感じる。そういった意味では、もっと世界の状況を知ることがまず土台として必要ではないかと思う。
- ・世界にない漸新な社会システムやエネルギー自立など、西洋発想からそろそろ卒業して、大拙の東洋発想に戻ることが方向性だと思います。

2. 各種団体向けアンケート

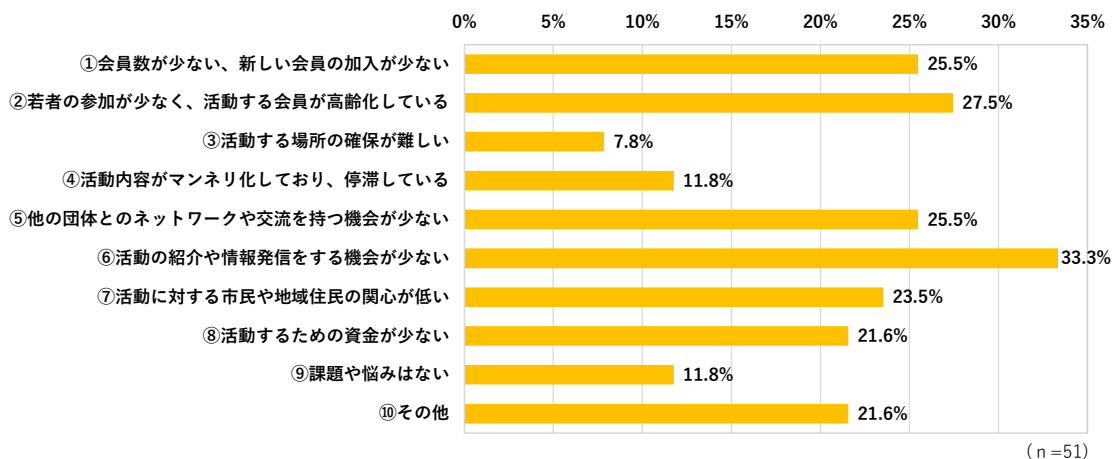
調査概要

調査対象	市内で活動する各種団体
調査方法	①紙による回答 ②インターネットによる回答
回答票数	52 団体

(1)団体の活動について

① それぞれの団体が抱えている課題や悩み

- ・「⑥活動の紹介や情報発信をする機会が少ない」が33.3%と最も多く、次いで「②若者の参加が少なく、活動する会員が高齢化している」が27.5%、「①会員数が少ない、新しい会員の加入が少ない」「⑤他の団体とのネットワークや交流を持つ機会が少ない」が共に25.5%となっている。
- ・「③活動する場所の確保が難しい」が7.8%、「④活動内容がマンネリ化しており、停滞している」が11.8%となっており、他の課題や悩みと比較すると割合が低くなっている。



その他の内訳

- ・DX 化
- ・人材不足
- ・コロナの影響による事業・活動の制限
- ・会員企業のレベルアップを図りたい
- ・少子化による事業・活動の減少
- ・組織のSDGs 推進と地域とのかかわり方
- ・学生教育における地域活性取り組みへの参画方法
- ・組織加入率、会員満足度の向上
- ・入会のメリットが希薄となり、会の重要性・存在意義の低下が懸念される

② 団体活動に取り組む中で感じる金沢の強み・弱み

魅力づくり(文化・芸術、観光など)に関する意見	
金沢の強み	金沢の弱み
<p>(まちの個性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史ある町において新しい物との融合がしっかり行われてきており、その景観や文化そのものが金沢らしさとして息づいていることが強みとなり、金沢としての都市形成において強みと言えます。 ・まちを取り囲むように多様な森林(自然)が存在する。 ・海、山のどちらとも近く、周遊しやすいコンパクトなまちであること。 <p>(文化・芸術)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化・芸術を生かした活動に取り組んでいる(創造的分野での躍進)。 ・市民芸術村など市民による文化活動が盛んに行われていること。 ・歴史伝統文化の深さ。個性的で多様な文化・工芸が息づいており(茶道、加賀宝生、狂言、九谷焼、大桶焼、加賀漆器、加賀蒔絵、素囃子、はしご登り等)、国内はもとより海外からも高い評価を受けている。 ・心豊かに穏やかに暮らせる金沢市の魅力を再認識し、新たな文化を取り入れてきた歴史を生かした全国大会やブロック大会などの取り組みを進める事が大切であると考えます。 ・食文化が充実している(食文化の歴史、奥深さ)。 ・新鮮な水産物は強みの一つ。県内水産物の主要産地は能登であるが、金沢はその集積地になっており、能登あつての金沢、金沢あつての能登、の関係にあり、本県水産物の価格形成に寄与している。 <p>(後継者育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職人の技の継承や後継者の育成を、行政が行っていること。 ・金沢美術工芸大学、金沢卯辰山工芸工房など工芸に関する人材育成機関が充実していること。 	<p>(魅力発信)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発信する人(有名人等)があまりいない。 ・以前から継続して来た民間団体の取り組みと同じイベントを県や市、マスコミ関係が同じようなイベントを行っているため参加者が分散している。実績のある団体に委託するなど整理が必要と考える。 <p>(文化・芸術)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活様式の変化に伴い、伝統的な工芸品が日頃の生活の中で使われなくなっており、年々生産額が減少傾向にある。希少伝統工芸品の中には、後継者がおらず、事業継承の危機に瀕している業種がある。 ・国内外の文化の担い手との交流を促す場がないため、新しい文化価値が生まれにくい。 ・文化による社会課題を解決する等のまちづくり活動に対する支援がない。 ・金沢市指定の文化財の修復は石川県文化財保護修復工房で行っている。市の文化財は市で修復をすべき。 ・治部煮などの昔からの郷土料理の知名度が低い。 <p>(後継者育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化の担い手の活動(練習、制作、発表等)の場が不足している。 ・職人大学校表具科では後継者が減少。市の文化財は職大で修復できるスキームを検討いただきたい。

<p>(文化施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国立工芸館をはじめ、質の高い美術館、博物館や民間のギャラリー等が市内に点在しており、他のまちにはない都市の魅力となっている。 ・文化施設の多さ。見るだけでなく体験できる観光施設が多い。 ・美術館や劇場等の芸術・文化施設がまちなかに立地し、伝統文化や現代美術などの様々な活動が展開されていること。 ・兼六園を中心とした都心部の緑や城下町の風情が今も残る金沢のまちなみなど。屋外広告のみならず景観に関する市民の意識が高く、伝統的なものと革新的なものがかうまく調和されている点。 <p>(観光)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『金沢』というブランドの知名度・認知度・イメージが高いこと。 ・金沢の文化を世界に発信する機会をつくり積極的にインバウンドを含めた観光客の増加を図る取り組みを行っている。 ・観光地がほどよい範囲にある(観光が身近にある)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内で学んだ多くの芸術家が他都市へ流出するケースも少なくなく、金沢で創作活動を継続していく方策や支援等がこれまで以上に必要となっている。 <p>(文化施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化施設の老朽化。 ・文化施設への若者の関心・認知度の低さ <p>(観光)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多彩な伝統文化や優れた市民の文化活動が存在しているが、観光資源として生かされていない。 ・強みを活かす中心市街地の魅力発信や、アクセスビリティ向上に向けての取り組みが見られない。 ・天候が観光のマイナス要因となっている。天候面での弱点を強みに転換できるようなPR施策も必要ではないか。(例えば、肌が美しいとの化粧品会社の調査で常に全国上位となっていることから、紫外線少なく女性に優しい美肌・金沢などというようなフレーズにて。) ・ランドマークは鼓門ぐらいしかない。 ・ラグジュアリーホテルが少ない、外国人ガイドの質量不足、コアバリューが明確になっていない。 ・外国語表示が少ない。
暮らしづくり(福祉、環境、コミュニティ、安全・安心など)に関する意見	
金沢の強み	金沢の弱み
<p>(福祉・健康)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しいものを取り入れる土壌がある(ICT 検診、 	<p>(福祉・健康)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これから迎える超高齢化社会に対するサービスの

<p>胃内視鏡検診の導入)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康、医療への意識が高い団体が多くある。 ・医療機関や高齢者施設に恵まれている。 ・介護サービス事業者連絡会での研修等により、均衡の取れたサービスや適正化が図られ、介護保険制度の中での金沢モデルができていると思う。 <p>(地域コミュニティ・住民自治)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の理解と協力 ・各校区の地域コミュニティ(町会等)・組織が機能している。協力的な住民が多い。 ・昭和9年に初めて善隣館が開設され、その後金沢に「善隣思想」が根付く礎となり、現在まで地域に根差した金沢の地域コミュニティを支えている。そのあらわれが金沢マラソンの切れ目ない応援だと思う。 ・石川県の中心地として、情報、人材、自然、その他すべてが整っている事から、大規模な活動から小規模な活動まで取り組むことができ、誰もが参加しやすい。 ・地方都市の割にコンテンツが充実している。地域のつながりが強い。 ・金沢方式など地域での活動が昔から根付いているところ。 ・毎月の理事会に必ず市職員が参加してくれる。 <p>(人口)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口について、将来的には減少予測されているが現時点では概ね維持できている。 	<p>量、介護人材の確保が課題。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児の支援(制度や支援内容、協議の場の設置) <p>(地域コミュニティ・住民自治)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア精神が前提としてあり、若い人が地域活動参画しづらい。 ・組織が硬直していて融通がききにくいところがあると感じる。他人任せにする人が多いようにも感じる。 ・単身世帯の増加や少子高齢化による地域活動の担い手不足、住民意識・関心の低下、価値観や生活スタイルの変化などにより地域コミュニティの希薄化が進展している。 ・地域美化の観点からは、町会未加入世帯の増加や美化意識の低下により、ゴミステーション等におけるゴミの散乱や収集の困難性が増している。 <p>(安全・安心)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害への備え(地震、風水害、雪害)。 <p>(人口)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口が少ない。
<p>人づくり(子育て、教育、生涯学習など)に関する意見</p>	
<p>金沢の強み</p>	<p>金沢の弱み</p>
<p>(学生・若者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学都である(大学等高等教育機関が多い)。 ・金沢には多くの学生がおり、この学生の活力やア 	<p>(学生・若者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学の数の割に若い世代・学生のパワーが出ていない。

<p>アイデア、感性を活かしていければ金沢の強みになる。</p> <p>(人材育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーの先進性 ・歴史や文化、創造性に富んだ部分に惹かれて県外から多様な人材が集まってくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地フィールドへ都合の良い時間での大勢の移動については、学生の負担が多くなるため、活動の機会を増やしにくい。 <p>(人材育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分からリーダーシップをとる人が少ない。 ・行動力が弱いように思う。 ・若い人材が定着しない(地元就職、Uターン就職を希望する学生、若者が少ないのではないか)。 ・高等教育機関が集積し、多種多様な学生が全国から集まり学んでいるのに、優秀な人材は地元進学・就職を選択せず、東京・大阪などの大都市に流出する。卒業後その能力を発揮できる企業が少ない。 ・多様な人材を生かす場づくり支援策を講じるべき(なにもかも市(役所)でやろうとするのではなく) ・持続、継続力が弱く活動はするがブラッシュアップができてない。 ・デジタル化推進人材の不足
<p>仕事づくり(新事業創出、産業振興など)に関する意見</p>	
<p>金沢の強み</p>	<p>金沢の弱み</p>
<p>(産業振興)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等教育機関の集積を活かし、大学コンソーシアム石川や金沢市近郊私立大学等の特色化推進プラットフォーム等での各取組により、地域・産業界との連携を図りながら教育分野から地域の課題解決、地域と産業の活性化が進められている点。 ・地域資源、観光資源が豊富。ニッチ企業を育ててきた風土、気質、知恵、大学等がある。 	<p>(産業振興)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しいものが生まれにくい。 ・文化と産業の結びつきが弱く、文化活動が生業となりにくい環境にある。 ・産業全体のため伝統文化にとらわれないことも必要。 ・若手の起業家の育成が必要。 ・協業風土の乏しい所。 ・金沢の地域の中小企業の活性化が課題。 ・立地条件より、新しい有力な販路が開拓しづらい。 ・水産分野において他市町村との連携が弱い。能登の水産物が無ければ金沢の台所は支えられない。能登では、漁業者数も漸減し、漁獲量の減少も避けられない状況。漁獲物を金沢へ運搬する手段も限られ、漁業と地域の衰退が加速している。地元漁業だけではなく、県内の水産物流などにも何らかの施策が必要。

	<ul style="list-style-type: none"> ・金沢市産材活用事業のコンテンツをもっと周知させていくべき。 ・金沢市内に工場を建設する土地がない。 <p>(雇用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業団地が白山、能美、川北へ流れて、定住人口が少ない。 ・女性管理職比率が低い。 ・県外に流出した学生がUターンしたいと思う企業が少ない。 <p>(デジタル)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化の推進
都市づくり(都市基盤、交通など)に関する意見	
金沢の強み	金沢の弱み
<p>(都市計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦火を免れたことにより、残った藩政期のまちなみと建造物が歴代市長のまちづくりの基本方針の一貫性によって数多く現存していること。 ・まちづくりの歴史、資産の存在 ・地方都市の中では交流人口が増加し成功している。まちづくりにおいても中心市街地に大きな広場的な滞留空間を確保して都市の魅力やイメージ作りに成功している。 	<p>(都市計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その昔、全国一盛んであった土地区画整理事業により大幅に拡大した都市計画区域について、行政負担の軽減を目指したコンパクトシティ構想に基づき都市計画区域の見直しが遅れているのではないか。 ・将来の合併にむけて周辺市町と連携強化すべき。 ・若い世代が楽しめる(子供連れ家族など)プレイスポット的な施設が少ない。 ・人口減少に伴う老朽化した住宅や空き家の増加。 <p>(都市基盤)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の道路に狭い箇所が多い。古い道路の改善がみられない。歩道や裏道が狭いため、危険。 ・道路環境(渋滞等)が悪い。 ・雪や雨の日が多く冬場は特に歩きにくい。 ・まちなみや道路が限られている事から市街地での取り組みに制限されることが多い。 <p>(中心市街地活性化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金沢中心部の空洞化、賑わい。まちなかが弱い(商店街の老朽化・衰退、空き地、空き店舗等)。

<p>(交通)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心部はバスが充実している。 ・自転車活用推進計画など、国や県からの政策には早い対応ができています。 ・新幹線開業により 10 年後には関東関西金沢のトライアングルが完成。日本海側を代表する都市となる可能性が大。 ・北陸新幹線開業以来、首都圏との時間的距離が短くなり、金沢という都市イメージが向上し、全体的に不動産価値の増加が図られました。この点で、更なる資産価値向上を目指すうえで、折角の北陸新幹線を早期に関西圏に繋げる努力を行うべきだと思います。 ・三大都市圏へのアクセスが比較的良い。 	<p>(交通)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事情など立地環境が県内他市町に比べ劣る。 ・公共交通機関が不便、首都圏が遠い、海外へのアクセスの悪さ等、交通・物流の課題がある。 ・新幹線敦賀延伸で大阪、名古屋との直通が無くなり不便になる。
<p>その他</p>	
<p>金沢の強み</p>	<p>金沢の弱み</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・金沢市の特色を活かしたデジタル化に取り組んでいること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・閉鎖的、排他的で横のつながりが少ない。 ・前例踏襲の傾向が強い為、結果、変えられない、変わらないということがある。 ・保守的で、しがらみが多い。 ・周りとの協調が難しく統合ではもめる、うまくいかない。

③ よりよいまちづくりを進めるための団体の取組(自由記載)

魅力づくり(文化・芸術、観光など)に関する取組

(歴史・伝統)

- ・金澤町家の保存・活用に係る行政に対する各種協力、空き家・空き店舗の利活用に係る行政に対する協力、調査資料等の提供。
- ・歴史、伝統地区の景観は守りつつ、新しい賑わいがあり、活気な街づくりに貢献したい。

(文化・芸術)

- ・市民が文化芸術をもっと身近に触れることができる環境を醸成するために、ライフステージに合わせた文化イベントを創出するとともに、人口減少・少子高齢社会の進展する中で、「関係人口」の増をめざす取り組みとして、市民と国内外の文化の担い手との協働による芸術活動を支援していきたい。
- ・金沢の誇る伝統邦楽の後継者育成に繋がる子どもの邦楽教室を開講する、親子で金沢の魅力を発見する文化体験する機会を増やしていきたい。邦楽と洋楽のコラボにより邦楽ファンの拡大を図りたい。
- ・多彩な文化芸術の担い手・支え手の取り組みを支援し、誰もが芸術文化に親しみ活動しやすい環境を醸成するための事業プログラムである「アーツカウンスル金沢」を運営している。今後は、文化芸術の継続的な振興・発展に向け、「市民」、「文化芸術団体」、「実演家」、「文化施設」、「教育機関」、「民間企業」等の多様な主体の連携、協働を促すプラットフォームの役割を果たしていきたい。
- ・食文化の継承、発信。
- ・百万石踊り流しへの参加。
- ・視聴覚障害者が、金沢の食文化や伝統芸能を体験する機会を、業界の力も借りながら設けていきたい。

(スポーツ振興)

- ・スポーツ大会やイベントを他県と同時に開催してはどうかと思っている。障害のある方(TV、ラジオ、インターネット等)が同時に行うこと。

(観光振興)

- ・魅力ある観光コンテンツの造成によるブランド力の向上。
- ・文化観光を中心に量より質の観光を目指すと共に、観光と本物の文化体験、隠れた史跡巡り、こだわりの食べ歩き、安心安全な医療、感動を呼ぶスポーツ、コロナによるワーケーション、先端を行く産業観光、信頼のおける異業種の掛算により付加価値の高いツーリズム/イノベーションを図る。
- ・サイクリング大会やインバウンド向けのツアー活用などに力を入れていきたい。
- ・「まいどさん」として観光客に金沢の言葉でガイドブックには無いようなことも含めて金沢のまちを案内し、金沢ファン、リピーターを増やすこと。
- ・会の中で外国語が出来る人のグループを作りインバウンドの対応に積極的に取り組んでいきます。

暮らしづくり(福祉、環境、コミュニティ、安全・安心など)に関する取組

(福祉・健康)

- ・ICT 検診の拡大など医療 DX の推進。

- ・医療ケア児の支援(訪問看護の推進)。
- ・医療勤務環境改善支援(勤務環境改善の普及推進)。
- ・ウェルビーイングな地域づくり。

(地域コミュニティ・住民自治)

- ・自治会組織加入への協力。
- ・共助を意識した取り組み、コロナの影響で崩れているコミュニティを修復する。
- ・ごみ収集時や電話対応時における市民へのごみ出しルール等の説明や啓発。

(環境保全)

- ・金沢市とゼロカーボンシティ実現に関する連携協定を締結し、民間事業所の脱炭素化を推進する事業を連携しながら進めている。まちづくりの中にエネルギー効率や脱炭素化を実装し、商店街、工業団地、町会等の動きと調和して金沢市と共に動く橋渡しを担ってゆく。(いしかわエネルギーマネジメント協会)

(安全・安心)

- ・防災活動(金沢市と災害協定)、防災施設の設置、機器の寄贈など。
- ・治安維持等への協力。
- ・自然災害に備え、石川県や金沢市と災害協定を締結しており、協働で訓練を実施している。
- ・地域の守り手として公共施設の破損を通報するまちなか協働パトロールを実施。

人づくり(子育て、教育、生涯学習など)に関する取組

(子育て支援)

- ・子育て世代の会員を対象とした事業と、子育てが終わった世代の会員を対象とした交流事業が少ない為、世代間の交流事業を図る取り組みを進める。若い子育て世代を対象としたアンケートの実施を行う。
- ・現在主たる団体として、保育部会、金沢地区会があるが、協力体制を強化したい。

(教育)

- ・子どもたちに豊かな体験、経験をさせるために、これからも各地域の大人(育成委員の方々)の協力を得ながら、イベント等を実施し、子どもも大人も笑顔が広がり、成就感を味わえるようにしていきたい。
- ・将来を担う子ども達に、早い段階で金沢の文化の魅力に触れてもらうため、子ども博物館セミナーや子ども作品展を実施し、文化施設に訪れる機会をつくっている。
- ・子どもたちの創造力向上。
- ・金沢の課題に対し、教育・研究の視点からアイデアを出し、時には実践して取り組んでいる。
- ・従来からフィールドとして取り組んでいる学類だけでなく、新設の学類や、課外活動での地元地域との教育・研究での連携強化。

(生涯学習)

- ・「ふるさと愛」を育成すること。「金沢検定」。まちづくりへの提言活動。

・宇宙産業創出と宇宙人材育成。

(人材育成)

- ・業界や企業の次代を担う後継者やリーダーの育成支援。
- ・本学では、フィールド活動の充実を図り、ICT も用いてデータに基づいた地域課題の設定、エビデンスに基づいたソリューションの提案ができる人材を養成すべく大学の学部、学科再編に取り組んでいる。
- ・医療人育成教育、語学教育・国際交流の推進、新たな学びの選択肢の提供。
- ・青少年育成に関する各地域での取組を「健全育成協議会だより」で紹介し地域に配布することで、他の地域の活動を知り、より活発な活動を行うきっかけとしている。
- ・研修会の開催や、県外の企業・観光地の視察旅行・交流などに取り組んでいる。
- ・他の職能団体と連携した ACP ファシリテーター養成研修の実施。
- ・金沢市と連携して取り組んでいる金沢IT部活事業を通じてのデジタル人材育成。
- ・防災士の教育、学校防災の講師を養成するために、セミナーの開催を実施している。

仕事づくり(新事業創出、産業振興など)に関する取組

(地域産業振興)

- ・地域総合経済団体として事業を行い、地域産業の振興・発展を図っている。そのために行政機関とも協力して、中小・小規模事業者の経済活動に対して、経営支援を継続して行っている。
- ・まちなか商店学習塾(通称まち塾)の開催による商店街の活性化支援。
- ・ソーシャルビジネスの環境構築。
- ・若年世代のアイデアを活用した自治体、産業界等と教育機関の連携事業。
- ・中小企業の連携組織による地域資源を活用した新商品や新サービスの開発支援や販売促進支援。
- ・クラフト、工芸のビジネス化を推進するため、工芸ディレクターを中心に若手人材の育成や商品開発支援などに取り組んでおり、今後、作り手の発表の場の提供や情報発信に関する支援を強化していきたい。
- ・金沢美大のデザインに係る蓄積を市内だけでなく広く県内の企業に普及することで、金沢市の枠を超えたネットワーク構築に努めていただくようお願いしている。
- ・金沢の産地卸売市場として、衛生管理を強化した、かなざわ総合市場の整備を計画している。
- ・市民・県民等に漁業・水産に関する理解を深めて頂くため市場見学を実施している。
- ・森林の適切な整備による森林の多面的機能の確保と生活環境の向上。

(デジタル)

- ・業務の DX 化による収益力の向上。
- ・デジタルマーケティングによるターゲットに刺さる情報の発信。
- ・情報リテラシー向上。
- ・デジタル環境の充実と積極的活用。

都市づくり(都市基盤、交通など)に関する取組

(都市整備)

- ・木の文化を十分発信する取り組みは常に行っています。今後は若い人達に緑の魅力を伝えたい。
- ・環境意識の高まり、特に木は CO2 を貯蔵・削減するといった特徴が、SDGs 等の観点で高い親和性があります。今後は、より積極的に木を活用されることが見込まれます。(環境にやさしい街)という観点から、金沢でも木造非住宅マーケットは拡充すると考え、その整備に取り掛かっています。
- ・公園リニューアル事業への参加(市民との意見交換時など業界から意見やアドバイスをを行い、より使いやすい公園リニューアルにつなげたい)。
- ・アドプト(金沢駅通り線飾花)。

(景観保全)

- ・今後も金沢の景観保全に対し、屋外広告という立場から考えより認識を高め取り組んでいきたい。
- ・いしかわ広告景観賞を通して組合員に他の模範となる、景観にマッチした屋外広告物の設置を呼びかけ、今年で第 36 回目を数える。北陸(金沢)を PR する絶好の機会となっている。

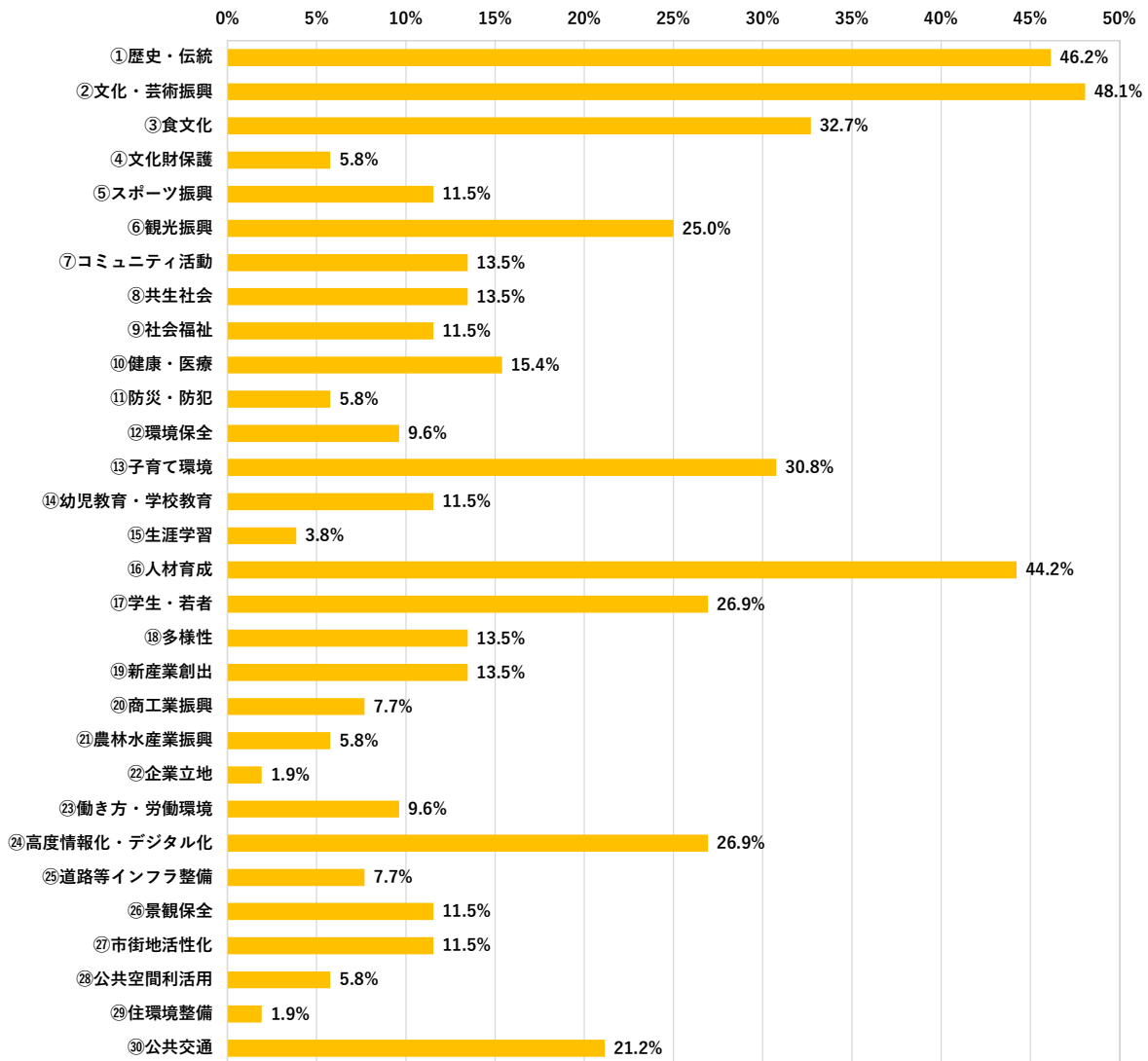
(公共交通)

- ・渋滞緩和解消のため公共交通利用促進 PR。
- ・貸切バスの乗降・駐車等適正使用。
- ・自転車の活用に向けて指導者の育成に力を入れている。

(2)10年後の金沢を見据えたまちづくりについて

④-1 10年後の理想の金沢を実現するために、大切だと思うキーワード

「②文化・芸術振興」が48.1%と最も多く、次いで「①歴史伝統」が46.2%、「⑩人材育成」が44.2%、「③食文化」が32.7%、「⑬子育て環境」が30.8% となっている。



(n=52)

④-2 その他、前述以外の意見(自由記載)

魅力づくり(文化・芸術、観光など)に関する意見

(魅力発信)

- ・『金沢』という街が、世界に知れ渡ってほしい。
- ・「金沢らしさ」「金沢にしかないほんもの」「オンリーワン」があげられる。
- ・金沢の地においても、全世界とつながり、情報発信ができる環境が整い、若者の地元定着が進んだ金沢。Think Globally、Act Locally(世界を意識して、地域で行動する)と Think Locally、Act Globally(地域の経験を活かし、世界を変える)が同時に実現しているまち。
- ・これまで築き上げてきた金沢の歴史や文化・伝統にデジタルなどの新たな時代の要素を取り入れ、世界に発信し続けるまちづくりを行ってほしい。
- ・金沢のクラフト、工芸の魅力をこれまで以上に発信することにより、内外から多くの人々が集う文化性の高い活力ある都市を目指す。

(後継者育成)

- ・伝統的な技術の担い手が育ち、次代に引き継ぐ体制が確立している。
- ・市内で活躍する文化の担い手が増えるとともに、市民がどんな場所でも身近に文化に触れることができる環境を醸成していきたい。そのためにも既存の芸術文化施設が多様な市民とともに観光客も文化を体験できるような芸術文化拠点としての役割への変化、機能の向上が求められる。

(観光振興)

- ・イベントにおいて広域観光の拠点となっている。
- ・多くの観光客により金沢の経済が潤うとともに、金沢市民が誇りを持てるような魅力あふれる文化都市として発展し続けること。
- ・更なる国内外の交流人口の増加が見込まれる。

暮らしづくり(福祉、環境、コミュニティ、安全・安心など)に関する意見

(福祉)

- ・少子高齢化に対応した福祉施策の充実。
- ・子供、高齢者、障害者などすべての人が安心して生活できる共生社会の実現。経済効果や経営効率などの尺度だけに頼らず、ともに創り、ともに生きるまちづくりの実現に向け、様々な団体や市民が協働で取り組んでいく金沢でありたい。

(地域コミュニティ)

- ・これからも、行政や若者が意見交換できるような場があればありがたい。
- ・人生 100 年時代といわれる中、生涯にわたって誰もが生きがいをもって住み暮らす事ができる地域が理想だと考えています。

<p>(環境保全)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての市民が環境保全、環境美化の意識を持ち、限りある資源をリサイクル等により効率的に利用することにより循環型社会が形成され、「持続可能で美しい金沢」が達成されている。 <p>(安全・安心)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まだまだ木造が多い街なので、防災意識を高めるべきでは。南海トラフが起きた時、日本海側が臨時首都となるくらい。
--

人づくり(子育て、教育、生涯学習など)に関する意見

<p>(子育て支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化対策。東京都のように子育て手当て。 ・20年後、30年後の出生数を考えた対策。 ・男性の育児・家事の推進(働き方・労働環境の改善に加えて、男女平等推進、風土の普及)。 <p>(教育)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次世代を担う子ども達への教育が非常に重要だと考えています。 ・少子高齢化に対応した教育施策の充実。 ・市内の全小・中学校に防災教育が実施できていること。 <p>(生涯学習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「百万石まつり子ども提灯太鼓行列」など、他の地域ではできない体験を、子ども達に提供しており、金沢や地域の人、もの、ことを大切にすることを育てることにつながっていると思っている。毎年同じ事業を行っているが、参加する児童・生徒は変わるので、継続することにも価値あることだと思っている。これからも、10年後に生きる子どもたちにも変わらぬよい体験、心に残る価値ある体験をさせてあげたい。 <p>(学生・若者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多感な学生時代を金沢市に住んでみたいと思わせる魅力ある都市。 ・地元出身者が地元に着定して住み続けられる街づくり。
--

仕事づくり(新事業創出、産業振興など)に関する意見

<p>(地域産業振興)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職人の活躍の場が広がっている。 ・中小企業の活性化。 ・起業やスタートアップ支援。 <p>(雇用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業数に対する高卒、学卒の採用が難しい。特に中小企業は絶望的になる。(年々改善されることはない)人手不足による中で、人の数ではなく人の質を上げる人材育成が必要。又学校教育も経営者、企業が

求める人材を意識(企業と学校の意見交換含む)した教育が必要。

・意志決定する権力基盤での世代交代と女性参画。多様な人々が活躍する10年後を創ることが必要。人口減少の影響を一切受けない産業は、一つもありません。どの職場においても若い世代が極端に少ない状況が状態化し社会や組織の活力が削がれる社会が到来します。その中でマーケットが縮小しても成長するビジネスモデルが産声を上げるのだと思います。その為には、まず、意志決定する権力基盤での世代交代と女性参画が必要です。

都市づくり(都市基盤、交通など)に関する意見

(都市計画)

・日銀跡地の活用など中心部における再開発をしっかりとやること。
・活気ある市街地の形成は都市の魅力には不可欠。
・修景にも配慮した森林整備の拡大と木の文化都市金沢の実現されていることを期待します。
・施設整備により行政負担が増大することは避けなければならない、いかに収益をだせるものとするかも知恵を出さなければと思います。

(景観保全)

・古い屋外広告物の適切な状態での掲出、劣化したままの物の撤去、改修の推進が必要。景観もそうだが、安全面に関して不安な部分が多い。

(公共交通)

・一定規模の定住人口を維持するためには安全安心で利便性の高い生活の確保が不可欠であるとともに、交流人口の増加のため歴史・伝統・文化など都市としての魅力度アップに併せて快適に移動できる交通手段の確保が必要。定住人口、交流人口の両輪が揃ってこそ、地域経済が活性化し都市としての発展に繋がるため、礎となるインフラ整備を更に進める必要がある。
・新交通システム又は BRT の導入。
・新旧織り交ぜての各施設等が都市中心部に集約され、それらの施設等が公共交通機関(バス・タクシー・自転車・その他新しい移動手段等)により手軽に便利に自由に往来できる街となって欲しい。
・各校下に最低 1 箇所、バス停・タクシー昇降場・まち乗り自転車置き場等が一体と整備され、利用する方や地域の人達も休憩出来る金澤現代風広見(各校下自治会組織運営)のような施設が整備されるといい。
・市内の主要道路が公共交通や自転車などカーボンニュートラルに向けて交通規制が行われるとヨーロッパのようなゆとりが生まれると考える。

⑤ 金沢市のまちづくりに対する意見・ご提案・アイデア(自由記載)

魅力づくり(文化・芸術、観光など)に関する意見

(歴史・伝統)

- ・現在の金沢の根源にあって、ないがしろにはいけないものは、「生活や風土という土壌を育てていたもの」、「金沢に育った経済、産業」、「文化の土壌」です。
- ・現状を放置しては、10年後の金沢は「どこにでもあるような普通の都市」になっています。歴史と食文化を除けば、来訪者からも魅力ある都市ではなくなってしまいます。

(文化・芸術)

- ・アーツカウンシル金沢において、現在、市内で活躍するアーティストの集積化を図っており、将来的には、地域の公民館等へ恒常的なプログラムとして派遣することで、地域の文化倶楽部として発展させることも可能かもしれない。関係人口を増加させるために、アーツカウンシルしずおかが実施している新しいワーケーションの形である地域住民とクリエイティブ人材との交流を促進する『マイクロ・アート・ワーケーション(MAW)』を参考に、金沢の個性である芸術文化を元に、市内にある文化的価値・資源と国内外のアーティストとの交流による「よそ者」の視点を取り入れたアートによるまちづくりが効果的と考える。
- ・現在、民間主導の KOGEI アートフェアを年1回開催しているが、クラフトの町「金沢」を世界に発信するため、さらに内容を充実し、国際的な工芸フェアとして発展させていければと思う。
- ・工芸センターの設置と運用:工芸作家とコレクターのマッチングを促進。日常的な工芸のアートフェア開設により金沢を工芸の市場にする。
- ・海外の団体との音楽文化相互交流の推進:和洋融合した新しい文化の創造。
- ・観光客や県民・市民が気軽にいつでも楽器体験が出来る場の提供。
- ・住民を巻き込む仕組みとしてイベント、行事を作っていく。フードピアも最近は少し低調な気がする。以前のように、もっと多彩なゲストとの組み合わせを全国に向けて発信したほうがよいのではないか。

(文化施設)

- ・21世紀美術館の2号館(分館)の設立:大きな集客力と発信力を有する21美だが、コレクションの増加もあり、街中に分館を設立してさらにアートの力を発信していく。
- ・石川は美術王国。更なる取り組みを県全体で考え、国立アートミュージアム等の建設を誘致してほしい。

(スポーツ振興)

- ・金沢はプロスポーツがいくつもあるが、いずれも今少し低調である。バスケットも1万人収容のアリーナを作るなどしてテコ入れしてもいいのでは。イベント、行事の取り組みには、共生社会を目指すうえで、実行委員には支援を必要とする人など、色々な立場の人に加わってもらうことが必要。

(観光振興)

- ・夜の観光の魅力創出。
- ・県内全線開業に伴う観光資源整備(金沢城二の丸御殿・辰巳櫓の復元、二階建て・オープン金沢周遊バス)。観光客は金沢の歴史文化にひかれて、ゆったりと旅情を楽しみ名物や美味しいものを食べる。これ

が、古い街中に新しい街並みがある金沢の最大の強みであり魅力です。

- ・観光コンテンツを磨き上げ、ブランド力を高め消費単価の向上を図りたい。
- ・ガイドの育成を含め観光客の受け入れ環境の充実を目指す。
- ・観光協会の組織体制を強化するため、宿泊税の充当など安定財源と専門人材を確保する。
- ・観光 DX を推進し、情報収集発信体制を強化し観光事業の収益力・観光人材給与水準の向上を目指す。
- ・富裕層の方々がセカンドハウスとして第2の軽井沢感覚で住める街にしてみるのもいいのでは。
- ・新幹線福井延伸によりJR線(サンダーバード等)の関西圏との接続(誘客)が悪くならないように!!

(市民生活との調和)

- ・市民と旅行者の相互理解を深めたい。

暮らしづくり(福祉、環境、コミュニティ、安全・安心など)に関する意見

(福祉)

- ・市民の幸福度に関する指標の策定。そして定期的な計測によって、データから課題を設定し、解決に向けた取り組みを行う事。
- ・まちなみ保存や伝統芸能、工芸の継承を強化していく中で障害者のくらしやすさを街づくりに反映してもらいたい。
- ・都会の人(富裕層向け?)が安心して任せられる介護施設を充実させ、家族が観光やリゾートを楽しみながら月に数回新幹線で面会に来るといった流れができるとう面白いです。

(環境保全)

- ・エネルギーセンターでのサーマルリサイクルによる熱エネルギーを回収して得られる電気を活用して、電気自動車化したごみ収集車で収集運搬を行う。利点①収集車から排出される CO2 等の温室効果ガスを削減し、地球温暖化防止に寄与。利点②廃棄物発電による発生電気が有効利用される(送電によるロスがない)。利点③ごみ収集車がガソリンスタンドまで行く必要がなくなり、エネルギーセンターでごみを排出したその場で充電でき効率化が図れる。利点④充電は、エネルギーセンターであらかじめ充電された電池ユニットを交換することとし、充電に要する時間の短縮が図られる。利点⑤ごみ収集時や走行時の騒音低下が図られ、周辺住民の生活環境が改善される。利点⑥災害時にごみ収集車を非常用電源として使用し、防災に活用できる。

人づくり(子育て、教育、生涯学習など)に関する意見

(子育て支援)

- ・出産子育てに対する経済的に不安な若者が多い中、金沢市が行っている保育料軽減(3歳未満児の保育料が第2子半額、第3子無料)をもっとアピールし、より突っ込んだ政策を行ってはどうか(第1子半額、第2子、第3子ともに無料等)。保護者の給与が保育料に消えてしまうという声も聞きます。就労していない家庭のお子様も、金沢市では「在宅育家族保育通園モデル事業」を行っており、すでにいくつかの園では受け入れを行っており、利用保護者の方からは、一定の評判を得ている。今年4月からのこども家庭庁の施策の中にも就労していない家庭のお子様の預かりも記されている。保育先進の市として、国の制

度以上の手厚い施策を強固に進め、子育てにかかる負担感を取り除いてほしい。

- ・シングルマザーが安心して子育てと仕事が両立できるようにしてほしい。
- ・女性が活躍したくても出産であきらめることがないよう卵子保管等の補助金を出してほしい。

(教育)

- ・子供は国が育てるというベースの考え方から、経済的に、精神的に、個々の能力を適材適所で発揮できる教育環境を作してほしい。
- ・幼少期から文化にふれ、たしなむ機会、交流の場を増やす。
- ・幼少期からの健康に関する体験を通じた教育の充実。
- ・学校の文化クラブ活動の地域移行の取り組みと人材育成。
- ・今の金沢に欠けているのは「サイエンス」です。「子どもの心をわくわくさせる」ものが、今の金沢、特にまちなかにはありません。金沢の科学の歴史を紐解けば、かつては、医学、理学、工学、自然科学の分野で世界に誇る偉大な功績を成し遂げた人物がおり、金沢偉人館には顕彰されている。未来を拓く人材の育成のためにも「サイエンス」の分野で心動かすものが金沢に欲しいです。

(学生・若者)

- ・学生を含む若者が持つ小さなアイデアなどを地域住民と自由かつ健全な交流ができる場の提供や、そのアイデアを基に、新しいことにチャレンジできるよう、地域との間をつなぐ窓口があれば良いと思う。
- ・市と大学の協定に基づく「雪かきボランティア」の協力体制のように学生の意欲や活力と市の事業をマッチングし、教育や福祉・文化・環境など様々な分野で学生が参加するようなスキームができれば、金沢の魅力づくりになり、卒業後、金沢を第二の故郷のように立ち寄ったり、金沢の応援団になるものと思われる。
- ・「地域が学生を育て、学生が地域を元気にする」という言葉を聞いたことがありますが、若い世代が新しいアイデアで、ボランティア精神のもと地域貢献活動を行う仕組みと、地域住民とのつながりをマッチングすることにより、地域の停滞傾向への活性化になるものと思われれます。
- ・金沢市と大学とが連携し、市が保有するオープンデータを活用し、「市民参画のSDGsまちづくり」を進める。こういった取り組みは富山市を富山大学で「富山方式」として進めており、金沢市でも参考にすべき。
- ・まちづくりにおいて若者と外国人(留学生含む)の受入れ・定着の促進が不可欠となる中、大学等高等教育機関の果たす役割は少なくない。「学都」金沢として、従来の魅力に加え、活気や多様性を兼ね備えた国際都市として発展を続けるために、人づくりの最前線にある高等教育機関への支援してほしい。

仕事づくり(新事業創出、産業振興など)に関する意見

(新事業創出)

- ・次世代の街づくりとして、産学官が連携し既存の地域資源から新しい価値を創生すること、加えてスマートシティ構想などのデジタル化推進やバリアフリー化を進めることで、どんな世代の人が住んでも訪れても気持ちよく過ごせる街にする事に取り組んではどうか。(京都市で先行例があるが、口腔機能、身体機能が低下した方へ、金沢の食を安全に提供するために、料亭の調理師と管理栄養士が連携し安全な食形態で食を提供するための基準作りを研究機関の支援を受けて行う。行政は安全基準を満たした施設を認定し広報する。安全な食を提供できる場所が増えることで、旅行者だけではなく、今後当市で増加する高

齡市民にとっても安全に食事を楽しむ場が創設されることになる他、サービス提供側にとってもメリットがあると考える。)

(地域産業振興)

- ・金沢の企業が国際社会でも活躍できるように、さらなる支援をお願いしたい。
- ・地域社会とのつながりの深い中小企業がより元気になり、地域社会と中小企業が共生する社会を創る。
- ・地域の課題解決が、中小企業の事業として推進できる機会をつくり、地元の企業の発展とまちづくりが両方進むような仕組みや取り組みを行っていただきたい。
- ・農林水産業などの第1次産業も地域コミュニティ・祭りや食などの文化を支える重要なポイントだと思えます。担い手を育てるような取組を期待します。

(デジタル)

- ・高度情報化・デジタル化は今後の社会に必須。伝統文化の発信だけにこだわらず、あらゆる産業分野の足腰を強化するためのデジタル化促進に努めてほしい。特に、新たな居住者を見据えた事業が大切では。

(女性活躍促進)

- ・医療界、特に看護界は女性が多く、育休などの制度は整ってきており評価できるが、その周囲は暖かく制度利用者を送り出すことができず、自分たちの負担感が増したように思っているのが現状。また最近のコロナ休校や休園の状況を見ても、お母さんの休みが当然のようになっていて、現場では人手不足が生じている。なぜ、父親が面倒を見る日がないのでしょうか？お母さんが努めている病院の現状をもっと理解していただきたいと思えます。あの会場に集まった団体の代表者のほとんどが男性でした。そのような背景をみても、女性の働き方を考え、改善していく場が必要ではないかと考えます。

(雇用・働き方)

- ・10年後の金沢を考える場合、企業誘致など働く職場の確保が最重要課題。金沢には多くの学生が生活していることから、大学との連携をより強固に進めていくことを提案する。
- ・災害発生時に応急活動するなど地域の守り手となる建設業の担い手確保・育成のためには、業界の働き方改革を一層推進するとともに、ICTの活用などDXによる生産性の向上や業界イメージアップが必要。そのため、行政との連携や協力を頂きながらそれらの取り組みを強化するとともに、小学生や中学生に向けて「金沢の建築文化」、「つくる楽しさ」、「建設業の魅力」を積極的に発信することが有効と考える。

都市づくり(都市基盤、交通など)に関する意見

(都市開発)

- ・金沢駅東口旧都ホテル跡地を金沢市として所有できないか？いつまでももったいなく、みっともない。
- ・新竪小学校、馬場小学校、小將町中学校などのまちなかの統廃合校跡地、日銀や都ホテルの跡地。これらにどんな未来を描いて整序ある利活用をしていくか、時代の流れに応じて変貌していくまちと暮らしをデザインする貴重な資産です。十分な議論がなされることを期待します。

(都市基盤)

- ・街路樹の連続性・統一性、補植や樹種を見直し、景観の向上を図る。
- ・自然災害による街路樹の倒木が目立っている。植栽から長年経過し巨大化したり、歩道部で根が上ったり、樹勢が衰えている街路樹の整理や剪定等の管理を行う。

(中心市街地活性化)

- ・片町～香林坊、豎町について、早急に賑わい創出を考えてほしい。まちづくりの企画などは、最低でも50代以下の若い方が中心に行ってほしい。
- ・観光客だけでなく地域住民が中心市街地に集まる仕掛けや仕組みがもっと必要。
- ・まちなかには家族連れで出向くものは存在せず、中心商店街の沈下につながっています。

(都市計画)

- ・特に建物に多く見受けられるが、作っては壊しての繰り返しによって、金沢市内の町並みもそれぞれの世代で大きく変化している感がある。また、昔を懐かしむものが無くなってしまったところも多い。旧町名の復活だけでなく、昔の町の復興をできるだけ大切にしたい金沢であってほしいと思っています。
- ・木材を積極的に活用した街づくりの推進。
- ・現代のニーズに合った公園へのリニューアルで、子育て環境の改善、町会活動などの活性化を図る。多発する異常気象と自然災害に対応できる防災機能を追加する。子育て世代が利用できる大型公園の計画。

(雪害対策)

- ・融雪道の普及率を高めてほしい。
- ・短期等中型の降雪がここ最近の金沢の冬。JRは運休の判断が早く安全優先という意識の高まりが、周りの企業はその判断が遅い。売上げ等に係ることからかもしれないが、出勤時の事故リスクが高い状況もあるので休業判断に関し県や国と連携して、休業判断に対する支援が出来ないか。
- ・道路の融雪装置や除雪車の往来が地域によって異なる。一方通行だらけの区画や高齢の方が多地域について、気配りが欲しい。

(移住・定住)

- ・コロナの影響でテレワークやワーケーションと言う働き方が進化した。文化、食、自然が楽しめる金沢への移住を推進していけたらいいのでは。
- ・金沢の風情が残るまちなみの保全、古民家の再生・利用を図る。空き家の増加への対応として、賃貸・シェアハウス・民泊・カフェなどの商業施設に再利用し、高齢世代より子育て世代の活用場所とする。

(公共交通)

- ・都市内交通の利便性・利用環境の向上
- ・金沢城周辺路線では郊外からの乗入が集中してバス渋滞が頻繁に起こっている。
- ・県庁所在地の私鉄バスで全国系交通カードが使えないのは二流都市のみ。全バス会社が危機意識を共有し、金沢城を中心とした放射線状路線と環状線周回路線を組み合わせて、交通系カード決済と乗継を前

提とした路線構築が出来ないか。

・他都市に比べ、公共交通機関が脆弱。歴史的遺産等に恵まれている一方、道路は整備されず、バス運行路線も地元民でも理解できないものとなり、そのためバス乗客も増えず、近頃の運転手不足と相まって便数が減少し、さらに便数減少で不便になり乗車人数も減少するという悪循環に陥っている。

(自転車)

・自転車等カーボンニュートラルに寄与する乗り物が安心、安全に移動できる街づくりを目指してほしい。欧米に比べ市民や宿泊施設、観光施設の自転車に対するコンセンサスが遅れている。

・安全に走れるよう、ヨーロッパを例に道路の半分またはバスレーンなどは自転車専用レーンにするべき。

・金沢駅前近鉄ビルの跡地一階正面にはまちなりの拠点を設けて欲しい。それにより「しまなみ海道」などのように国際的な評価が格段に上がる。

・ナショナルサイクルルートとして金石、犀川河川敷の再整備を(ランナーと自転車が混在していて危険)。

(歩ける環境)

・街中を歩きやすくする歩道の整備・拡張(観光にも健康づくりにも繋がる)。

その他

・政治家でも特に首長という職は、夢と理想を語り有権者に訴え、心を熱くさせ、当選後には自らが語った夢と理想に向けて、自分自身が市役所組織を率いて行動し、その行動の和が支持した有権者に広がり社会を築いていく職であると考えている。そうした市長に金沢市政の舵取りを期待しています。

・金沢の未来を考える機会をこれからも継承して開催していただきたい。

・物事を進めるプロセス自体をテクノロジーで進化させ、人々がコミュニケーションを取りながら合意形成してゆく社会システムが 10 年後に社会実装されていることを期待したい。将来を予測することに時間を費やすより、全ての世代が調和して未来を自分たちで創ることを自らしなければならない。